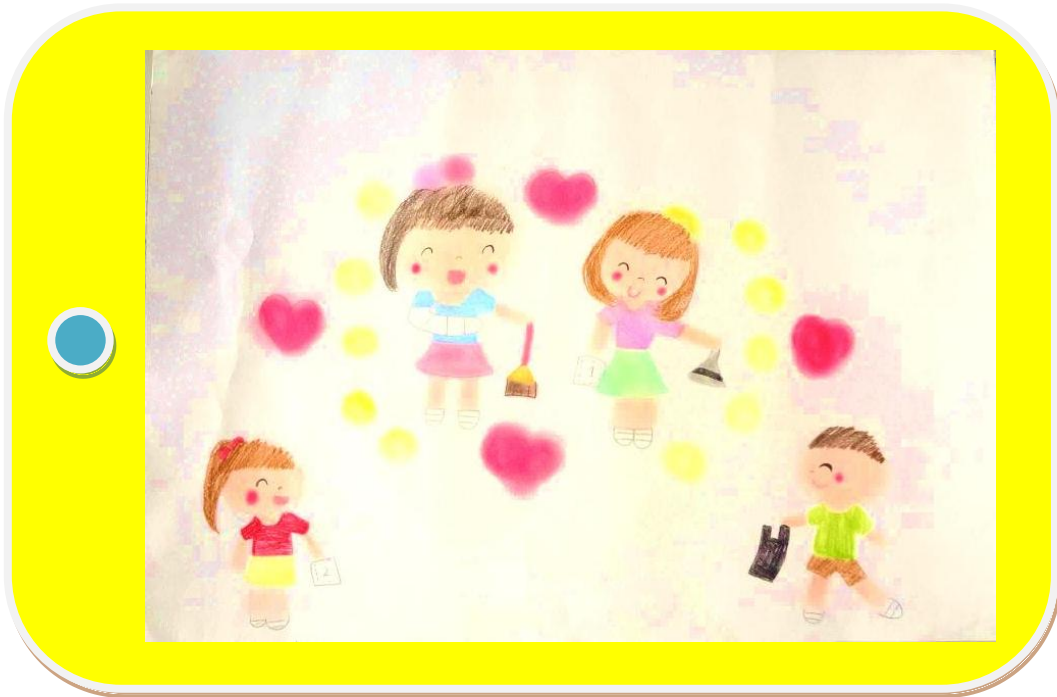


平成 25 年度

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

# 事業報告書

～市民とともに創造する福祉の里づくり～



平成 25 年度福祉絵画コンクール小学低学年の部金賞受賞作品

テーマ：「やさしい友だち」

作者：河東西小学校 本村 あい華

社会福祉法人  
宗像市社会福祉協議会

# ～もくじ～

1 平成 25 年度事業計画重点項目に関する総括	…	1
<b>■福祉企画課</b>		
2 法人運営に関する業務	…	3
3 福祉の里づくり事業の推進と福祉会の活動状況	…	7
4 広報広聴活動の推進	…	15
5 心配ごと相談事業の実施	…	16
6 高齢者福祉事業の推進	…	16
7 障がい児者福祉事業の推進	…	18
8 低所得者福祉事業の推進	…	20
9 母子寡婦福祉事業の推進	…	21
10 子育て子育て支援事業の推進	…	21
11 災害救援ボランティア活動連絡協議会の運営	…	22
12 福祉教育の推進	…	23
13 活動財源の確保	…	28
14 ボランティア活動・市民活動の促進	…	30
15 赤い羽根共同募金運動への協力	…	34
16 障害者生活支援センター運営事業	…	35
17 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業	…	40
<b>■居宅介護課</b>		
18 居宅介護支援事業	…	40
19 訪問介護事業	…	41
20 スマイルハート事業	…	42
21 障害者自立支援費によるホームヘルプサービス事業	…	42
22 生活管理指導によるホームヘルプサービス事業	…	43
23 いきがい活動通所事業大島ミニデイサービス事業	…	43
24 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業	…	43
<b>■資料集</b>	…	47

# 1. 平成 25 年度事業計画重点項目に関する総括

## (1) 福祉の里づくり事業の推進

- 日の里地区福祉会による地区別地域福祉活動計画「輪になれ日の里」の策定支援を行い、平成 26 年 2 月 25 日の第五回策定委員会にて、五地区目となる地区別地域福祉活動計画が完成しました。
- 宗像市地区福祉会連絡協議会や宗像市民生委員児童委員協議会、宗像市老人クラブ連合会やその他の地域福祉推進団体や福祉当事者団体等との連携や支援の強化を図るため、会議や事業などに参加・協力し、住民主体・住民協働による福祉の里づくりを推進しました。
- 住民の地域からの孤立と要介護状態への移行を防ぐため、各福祉会と連携・協働し「小地域ネットワーク活動」や「いきいきふれあいサロン活動（介護予防いきいき交流会事業）」の充実を図りました。また「小地域福祉活動」の基本指針や実践方法を見直し、ライフサポート事業（地域福祉権利擁護事業）との連携強化を図ることとし、平成 26 年度以降実践できる準備を進めました。

## (2) 本会独自の地域福祉権利擁護事業「ライフサポート事業」の開始

- 第 3 次計画による「日常生活自立支援事業の強化と成年後見制度への取り組みの強化」の具体的な活動として、本会独自の地域福祉権利擁護事業「ライフサポート事業」を平成 25 年 6 月から本格的に開始しました。
- 「ライフサポート事業」の開始により、従前の福岡県社会福祉協議会の委託事業である「日常生活自立支援事業」利用者には、柔軟に「ライフサポート事業」への移行を推進するとともに、新規利用者の受け入れ拡大を行いました。
- あわせて、「ライフサポート事業」の利用者を支援する「市民支援員」の確保と増員を行いました。
- さらに、将来的事業展開を考慮し、利用者の死亡後の対処施策（死後事務）や成年後見制度との連携強化策について検討を進めました。

## (3) 自主財源の確保

- 宗像市で定期的に開催されている知的障害者の国際スポーツ大会「スペシャルオリンピックス」の支援者であるサニックススポーツ振興財団（宗政伸一理事長）から、「スペシャルオリンピックス」と地域の知的障がいがある人々への適切な支援を目的に 1,000 万円の寄付金をいただきました。この寄付金を原資に「宗政基金」を設立しました。
- 本会の組織及び事業運営のさらなる充実を図るため、理事・職員を対象に初めて「ファンドレイジング（資金調達）」をテーマに自主財源確保の研修会を実施しました。
- 「宗像市社協（共同募金）自販機」の設置を積極的に推進し、今年度新たに 4 台増設することで、全部で 13 台になりました。これにより自動販売機による収入も前年度より増えました。

## (4) 介護保険事業の効果的・効率的な経営

- 居宅介護サービス事業で働く介護職の人材不足が深刻であり、本会でも新たな人材確保が困難で、職員への業務負担が増えるなど、職員体制において影響を受けました。しかし、年度末には、人材確保の努力が実り人員体制を整えることができました。
- ホームヘルプ事業は、常時登録職員を募集していましたが応募がありませんでした。利用者の現状を維持するために、募集用件を常勤職員にすることで二人確保できました。ただ、活動への影響は抑えることができたが、人件費が増える結果となりました。居宅介護サービスにおける介護職員の確保は、本会だけの問題ではなく、市や他事業所等と対策を検討する必要があります。
- 前年同様、介護支援専門員は、常勤嘱託職員の退職に伴い、後任を常勤日勤職員にすることで、経営経費の削減に努めました。また、大島地区の介護職員の不足を補うため、初任者研修の受講料を補助することで介護職員を確保できました。

#### **(5) 児童福祉法に基づく宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営方針の見直し**

- 平成 25 年度より、児童福祉法に基づく新体制で事業運営する中で、適切に事業が行われているかについて、定期的な評価と見直しに取り組みました。また、他施設への視察研修や情報交換等を実施することで、制度や事務手続き等についての理解を深めることにも努めました。
- 計画相談から個別支援計画に至るまでのサービス計画が円滑に行えるように、支援センターと、ケースについての情報交換を密に行うように努めました。また、業務やケースにおける検討事項についてはその都度支援センターに報告し、状況により協議しながら業務遂行を行いました。
- 定期的なケース会議により情報交換や業務の進捗状況等について確認を行い、不定期出勤の非常勤職員に関しては、書面でケースの情報提供を行い情報共有に努めました。
- 他施設への視察研修及び各種研修会への参加や、職員間での勉強会を行うことでサービス提供に関する知識を高めるように努めました。

#### **(6) 障害者生活支援センター事業の充実**

- 障害者総合支援法に的確に対応し、中立・公平な相談支援事業を実施するとともに、基幹相談支援センターとして、市における相談支援の中核的な役割を果たすため、一般相談支援事業所へのサービス支援計画作成の指導に尽力しました。
- 基幹相談支援センターの専門性を発揮するとともに、地域の相談支援体制強化および施設や病院からの地域移行推進に取り組みました。
- 関係機関・地域との連携を強化し、地域課題の解決を図るため、市と協働して障害者自立支援協議会の運営に努めました。
- 「障害者虐待防止センター」運営の充実を図るため、関係機関や市民への周知に努め、発見された虐待案件についても関係機関と連携協働し対処に努めました。

## 2. 法人運営に関する事業

### (1) 本会の運営に関する事業

#### ①理事会の開催 3回開催 27議案

開催時期・会場	議案番号	議案	議決（承認） 月日
<b>【第1回】</b> ■5月31日 ■メイトム宗像 203会議室	第1号	評議員の同意について	5月31日
	第2号	定款の一部改正について	
	第3号	宗像市社会福祉協議会スマイルハート事業運営規程について	
	第4号	平成24年度事業報告について	
	第5号	平成24年度決算報告ならびに監査報告について	
<b>【第2回】</b> ■10月30日 ■メイトム宗像 201会議室	第6号	専決処分の承認について（平成25年専決第1号）宗像市社会福祉協議会スマイルハート事業運営規程の一部を改正する規程について	10月30日
	第7号	専決処分の承認について（平成25年専決第2号）職員給与規程の特例に関する規程について	
	第8号	専決処分の承認について（平成25年専決第3号）会長報酬及び非常勤役員の費用弁償に関する規程の特例に関する規程について	
	第9号	専決処分の承認について（平成25年専決第4号）常務理事の設置に関する規程の特例に関する規程について	
	第10号	専決処分の承認について（平成25年専決第5号）事務局長の設置に関する規程の特例に関する規程について	
	第11号	専決処分の承認について（平成25年専決第6号）宗像市社会福祉協議会ライフサポート事業運営規程の一部を改正する規程について	
	第12号	宗像市社会福祉協議会宗政福祉基金設置規程について	
	第13号	宗像市社会福祉協議会経理規程の一部を改正する規程について	
<b>【第3回】</b> ■3月27日 ■メイトム宗像 203会議室	第14号	評議員の同意について	3月27日
	第15号	専決処分の承認について（平成25年専決第7号）平成25年度宗像市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算について	
	第16号	障害者生活支援センター臨時職員に関する規程の一部改正について	
	第17号	宗像市社会福祉協議会（新）経理規程の設置について	
	第18号	宗像市社会福祉協議会資金運用規程の設置について	
	第19号	社会福祉法人宗像市社会福祉協議会指定居宅介護支援事業所運営規程の一部改正について	
	第20号	社会福祉法人宗像市社会福祉協議会指定訪問介護事業所、指定介護予防訪問介護事業所運営規程の一部改正について	
第21号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス（居宅介護）社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正について		

開催時期・会場	議案番号	議 案	議決（承認） 月日
	第 22 号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス（重度訪問介護）社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正について	
	第 23 号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス（同行援護）社会福祉法人宗像市社会福祉協議会運営規程の一部改正について	
	第 24 号	常務理事の設置に関する規程の一部改正について	
	第 25 号	宗像市社会福祉協議会資金運用規程による資金運用責任者の同意について	
	第 26 号	平成 26 年度事業計画（案）について	
	第 27 号	平成 26 年度事業予算（案）について	

②評議員会の開催 2回開催 9議案

開催時期・会場	議案番号	議 案	議決（承認） 月日
【第 1 回】 ■5月28日 ■メイトム宗像 101 会議室	第 1 号	理事の選任について	5月28日
	第 2 号	定款の一部改正について	
	第 3 号	平成 24 年度事業報告について	
	第 4 号	平成 24 年度決算報告ならびに監査報告について	
	第 5 号	【追加議案】理事の選任について	
【第 2 回】 ■3月27日 ■メイトム宗像 202 会議室	第 6 号	理事の選任について	3月27日
	第 7 号	専決処分承認について（平成 25 年専決第 7 号）平成 25 年度宗像市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算について	
	第 8 号	平成 26 年度事業計画（案）について	
	第 9 号	平成 26 年度事業予算（案）について	

③理事研修会の開催

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事・職員研修会	■9月19日（木） ■メイトム宗像 202 会議室	対象者：本会理事ならびに常勤の職員 出席者数：20名 演 題：社会福祉協議会と自主財源の確保（ファンドレイジング）について 講 師：久津摩 和弘氏 山口県共同募金会主任主事・地域福祉ファンドレイジングネットワーク理事 内 容：なぜ地域福祉において社会福祉協議会がファンドレイジング（資金調達）を行わなければならないのか？この背景を共有し後、地域福祉課題解決に役立つファンドレイジング（資金調達）の基礎概念を学習した。また今回は、初めて職員・理事同道で研修を実施し、日頃交流の少ない理事と本会職員との交流も図った。

## (2) 経営戦略会議の開催

- 事業説明：本会の運営に関する諸事項について基本的の方針を検討・決定する会議。
- 出席者数：会長・常務理事・事務局長・福祉企画課長・居宅介護課長
- 開催時期：毎月第4火曜日

## (3) 計画的な職員研修の開催

- 事業説明：社会福祉の現場で働く職員として、必要な人権意識の習得のため研修を行っている。

実施事業	実施時期	主な活動内容
規採用職員研修	■4月15日 ■メイトム宗像 録音室	対象者：4月1日新規採用職員 出席者数：2人 内 容：社会福祉協議会や地域福祉、本会諸規程や担当事業に 関係する事業（職務）等について
接遇研修	■4月25日 ■メイトム宗像 202会議室	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：29人 講 師：伊藤浩 (株)サニックス研修センター 主な内容：礼儀・マナー等の研修
食中毒発生予防の 講義・事例紹介	■5月20日 ■メイトム宗像 202会議室	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：31人 講 師：漆原裕治 宗像遠賀保健環境事務所 主な内容：食中毒の発生予防と防止方法等
職種間連携の実践 方法について	■5月23日 ■メイトム宗像 101会議室	対象者：介護支援専門員等 出席者数：25人 講 師：安藤悦子 (福岡県弁護士会)
口腔ケアの研修	■6月11日 ■メイトム宗像 101会議室	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：26人 講 師：松岡由里子 本会ケアマネージャー 主な内容：口腔ケアの必要性和実施方法等
居宅介護支援事業 者のリスクマネー ジメント	■6月11日 ■JR 博多シティ	対象者：介護支援専門員等 出席者数：1人 講 師：ニック株式会社
救急救命講習	■7月7日 ■宗像消防署	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：43人
福祉における介護 士とケアマネー ジャーの連携体制の 構築に向けて	■8月10日 ■パピオン 24 ガスホール	対象者：介護支援専門員等 出席者数：2人 講 師：福岡県弁護士会
リスクマネー ジメントの研修	■8月25日 ■メイトム宗像 202会議室	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：15人 講 師：行徳義信 福岡県ホームヘルパー連絡会 主な内容：リスクマネージメント等
福岡県キャラバン メイト養成研修	■8月25日 ■福岡県地域介護 実習・普及セン ター (中間市)	主 催：福岡県地域介護実習・普及センター 受講者数：5人 内 容：認知症サポーター養成講座を開催することができる “キャラバン・メイト”を養成するための研修
高齢者の住宅改修 について	■10月7日 ■宗像市役所 103会議室	対象者：介護支援専門員等 出席者数：2人 講 師：TOTO 株式会社九州支社

感染症の研修	<b>■10月7日</b> <b>■メイトム宗像</b> <b>202会議室</b>	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：26人 講 師：守口聡 宗像遠賀保健環境事務所 主な内容：感染予防とまん延防止の方法等
移乗動作の基本研修	<b>■10月18日</b> <b>■よつづか</b>	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：8人 講 師：よつづか作業療法士のみなさん
介護実習	<b>■11月18日</b> <b>■メイトム宗像</b> <b>202会議室</b>	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：29人 講 師：諸石和代 福岡県介護福祉士会 主な内容：介護職の気づきによるケアの質の向上
介護保険認定調査員現任研修	<b>■12月20日</b> <b>■福岡県吉塚合同</b> <b>庁舎</b>	対象者：介護支援専門員等 出席者数：11人 講 師：福岡県介護保険課員
交通安全研修	<b>■1月20日</b> <b>■メイトム宗像</b> <b>202会議室</b>	対象者：ホームヘルパー等 出席者数：35人 講 師：後藤弥太郎 リスクサーチ福岡代表 主な内容：ヒヤリハットや事故の事例等
虐待防止法の理解と対応について	<b>■3月5日</b> <b>■宗像市役所</b> <b>202会議室</b>	対象者：介護支援専門員等 出席者数：2人 講 師：宗像市介護保険課員
職員人権研修会	<b>■3月17日</b> <b>■メイトム宗像</b> <b>202会議室</b>	対象者：原則として常勤日勤臨時職員以上。宗像市役所職員 出席者数：42人 演 題：障がい者や高齢者の人権・権利擁護について 講 師：篠木 潔 弁護士（翼・篠木法律事務所） ※現宗像市社会福祉協議会ライフサポート事業運営審議会長
宗像市福津市介護保険認定調査員研修	<b>■3月26日</b> <b>■宗像市役所</b> <b>103会議室</b>	対象者：介護支援専門員等 出席者数：11人 講 師：宗像市介護保険課認定係員

#### (4) 新法人会計システムの導入と運営

- 事業説明：厚生労働省の指導により全国社会福祉協議会が定めた社会福祉法人の新会計基準に準拠した会計システムの導入。平成28年度完全実施のため、平成27年度を試行期間とするため平成26年度に導入するシステムを決定した。

#### (5) 定例監査の実施

- 事業説明：法人の適切な経営を行うため、年3回定期的に監査員による会計等の監査を実施。監査の結果については、年度の第1回理事会・評議員会にて結果を公表している。

#### (6) 法人事務等のIT化の推進と管理

- 事業説明：本会活動を市民に周知する広報のあり方を「IT」と関連付けて充実を図るため、本会ホームページの改善を図った。平成25年度の主な改善点は、下記のとおり。
  - 本会の各部署の活動予定を本会職員が共有できるようにインターネットを活用して各部署が確認ならびに登録ができるシステムを構築した。
  - バナー広告による広告収入を得ることができるよう、バナー広告の利用事業者の確保と「バナーデザイン」を行った。※現在10事業者で満席。

※QRコードをスマートフォンやタブレット端末、カメラ付携帯等で読み取り頂くことで直接本会ホームページを閲覧・ダウンロードすることができます。





### 3. 福祉の里づくり事業の推進と福祉会の活動状況

#### (1) 福祉会組織化・育成事業

##### ①福祉会組織化・育成事業

###### ■福祉会とは

福祉会は、自分の住んでいる地域を住民の手で（＝参画・協働）誰もが生活しやすいように（＝共生社会）活動を行う（＝福祉力を高める）住民の自主的な組織です。また、自治会単位（小地域）の福祉会を「小地域福祉会」、地区単位の福祉会を「地区福祉会」と称しています。

###### ■福祉会組織化の経緯

福祉会は、宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書（昭和 61 年 1 策定）にて、“活動のための組織体制強化策”として採用した事業です。昭和 62 年に「小地域福祉会組織化事業」が開始され、翌昭和 63 年 4 月に自由ヶ丘地区に本市で初めての福祉会「自由ヶ丘地区社会福祉会（現：自由ヶ丘地区福祉会）」が発足しました。その後、各地に福祉会を組織化。平成 10 年 7 月 10 日に赤間西地区福祉会が発足し、旧宗像市においては市内 8 地区全域に福祉会が組織化されました。平成 15 年 4 月 1 日に玄海町と宗像市が合併、これに伴い両社会福祉協議会も平成 15 年 3 月 31 日に合併、新たな福祉会の組織化が平成 15 年度再開されました。平成 15 年 9 月 21 日に神湊地区福祉会が発会、平成 16 年 1 月 25 日の田島地区福祉会の発会をもって、旧玄海町 4 地区（市内 12 地区）全域に地区福祉会が組織化されました。平成 17 年 3 月 31 日には、本会が大島村社会福祉協議会と合併したのを機に、大島村福祉会（現：大島地区福祉会）が宗像市 13 番目の地区福祉会となりました。

###### ■各福祉会の取り組み

※【 】は地区福祉会

地 区	福祉会名	主な活動内容
吉武地区	【吉武地区福祉会】	楽しく食べて語るバスハイク、介護予防いきいき交流会事業/すみれサロン（9回）、孝行ネットの推進、理事役員研修、学童ふれあい活動、ボランティア研修会、ボランティア情報交換会、世代間交流グラウンドゴルフ
赤間地区	【赤間地区福祉会】	小地域福祉会情報交換会、地区内民協・福祉会情報交換会、先進地視察研修、高齢者閉じこもり予防食事会、未結成区へ呼掛け説明会、救急キット配布および見守りネットワーク活動準備会議
	赤間区福祉会	介護予防いきいき交流会事業、世代間交流七夕まつり、夏祭り盆踊り大会、市民花壇整備、1日バスハイク、ふれあい研修会・食事会
	石丸区福祉会	見守り訪問活動(隔月1回)、世代間交流事業(地引網、どんど焼き)、ニュースポーツと昼食で交流会、ふれあいバスハイク、福祉会コンサート食事会、広報誌発行3回、介護予防いきいき交流会事業(1回)
	徳重区福祉会	介護予防いきいき交流会事業、子ども夏休み学習会、敬老会、一日バスハイク
	田久区福祉会	介護予防いきいき交流会事業(10回)、アンビシャス広場収穫祭、障害者激励プレゼント活動、バスハイク
	陵巖寺区福祉会	ふれあい会食会(双葉会/9回)、広報紙発行年6回、1日バスハイク、高齢者料理教室、餅つき大会、友愛見守り活動、世代間交流事業(ニュースポーツ大会、昔遊び伝承、餅つき大会)
	三郎丸団地区福祉会	ふれあい花見会、グラウンドゴルフ大会、敬老記念品配布事業、敬老祝賀会、介護予防いきいき交流会事業

地 区	福祉会名	主な活動内容
	葉山区福祉会	ふれあい昼食会(4回)、介護予防いきいき交流会事業(10回)、葉山カルタ作り、先進地視察研修、世代間交流事業(3回)、ニュースポーツ大会、葉山まつり、新春三社参り
	名残区福祉会	敬老祝賀会、高齢者閉じこもり解消事業
	富地原区福祉会	ふれあい清掃活動、広報活動、介護予防いきいき交流会事業(5回)、世代間交流事業(しめ縄作り・どんど焼き)、
赤間西地区	【赤間西地区福祉会】	地域ボランティア登録事業の推進、介護予防いきいき交流会事業、赤間西小6年福祉教育への協力、福祉講演会、福祉だよりの発行、ステップアップ研修、ボランティアフォローアップ研修、世代間交流、先進地視察研修
	土穴区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、福祉員による見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業(10回)、乙女の会(女性独居高齢者の会)・金太郎会(男性独居高齢者の会)の開催
	城ヶ谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(あすなる会/10回)、ふれあいラジオ体操、独居高齢者との懇談会、見守り声かけ助け合い、刃物研ぎ、保育園児と高齢者とのふれあい活動、福祉だより発行
	赤間ヶ丘1区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(7回)、福祉会便り発行
	赤間ヶ丘2区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(8回)、バスハイク、敬老祝賀会、広報「ふれ愛」の発行
	三郎丸区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(4回)、世代間交流事業(子ども会キャンプ、干灯明祭支援)、刃物研ぎ、高齢者への見守り声かけ活動、広報活動、登校時の声かけ
	城山区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(11回)、ラジオ体操
	大谷区福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、敬老祝賀会、介護予防いきいき交流会事業(8回)、高齢者の見守り(災害時要援護者支援)
	泉ヶ丘1丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(6回)、敬老祝賀会、わんわんパトロールの実施
	泉ヶ丘2丁目福祉会	地域ボランティア登録事業への取り組み、介護予防いきいき交流会事業(7回)、どんど焼き、七夕会、敬老祝賀会、世代間交流事業
	マンション土穴1区	介護予防いきいき交流会事業(4回)
自由ヶ丘地区	【自由ヶ丘地区福祉会】	福祉委員による見守りネットワーク活動(65歳以上独居者・80歳以上の高齢者・その他対象者)、介護予防いきいき交流会事業(10ヶ所/70回)、いきいきふれあいサロン代表者会議の開催、小地域福祉会の組織化の推進、福祉だより「ほほえみあい」、ミニ広報「お元気ですか」の発行、福祉情報連絡会の開催(区会単位で年6~12回開催)、民生委員との懇談会、福祉委員連絡会、福祉委員研修会

地 区	福祉会名	主な活動内容
河東地区	【河東地区福祉会】	情報交流会、ボランティア研修、視察研修、役員会
	須恵区福祉会	バスハイク、視察研修、見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業（4回）、福祉だよりの発行
	稲元区福祉会	ひとり暮らし高齢者訪問活動、世代間交流会、バスハイク、視察研修、介護予防いきいき交流会事業（7回）、福祉だよりの発行
	福崎区福祉会	福祉講演会、介護予防いきいき交流会事業（4回）、福祉だよりの発行
	ひかりヶ丘福祉会	福祉講演会、世代間交流事業、ふれあいサロン、バスハイク、介護予防いきいき交流会事業（8回）、見回り訪問活動、声かけ安全パトロール、刃物研ぎ
	城西ヶ丘区福祉会	おしゃべりサロン、バスハイク、福祉講演会、視察研修、介護予防いきいき交流会事業（4回）
南郷地区	【南郷地区福祉会】	福祉協力員研修(2回)、バスハイク(2回)、楽しく食べて語ろう会【楽食会】(2回)、先進地視察研修、シルバー農園、世代間交流(3回)、介護予防いきいき交流会事業(13か所/56回)、ふれあい見守り活動、わくわく交流会、どんど焼き
東郷地区	【東郷地区福祉会】	福祉講演会、医療講演会、福祉委員研修及び会議（10回）、赤い羽根ふくし事業、シルバー農園、ひとり暮らし高齢者バスハイク、理事及び福祉委員合同視察研修、福祉だよりの発行、介護予防いきいき交流会事業（10か所/57回）
日の里地区	【日の里地区福祉会】	ネットワーク推進会議（町内会長や民生委員との交流会など）、福祉員研修会、ふれあい昼食会、おもちゃ病院、視察研修、シルバー農園、介護予防いきいき交流会事業（※12か所/計54回）、各町内会福祉会による活動、地区別地域福祉活動計画「日の里の福祉計画」策定
神湊地区	【神湊地区福祉会】	ひとり暮らし高齢者バスハイク、ふれあいクリスマス会、花いっぱい見守り訪問活動、介護予防いきいき交流会事業、理事・福祉協力員研修会
池野地区	【池野地区福祉会】	介護予防いきいき交流会事業(6か所/19回)、【田野区サロン(2回)、玄海ニュータウンサロン(1回)、桜町サロン(1回)、公園通りサロン(25年度新規1回)やまびこサロン(25年度新規10回)池野地区サロン(4回)七夕会、クリスマス会、ひなまつり】ひとり暮らし高齢者バスハイク、理事研修、アオキ会ボランティア研修
岬地区	【岬地区福祉会】	ふれあいバスハイク、ひとり暮らし高齢者お誕生日訪問、視察研修、介護予防いきいき交流会事業（2回）、ふれあいクリスマス会
田島地区	【田島地区福祉会】	一人暮らし花いっぱい見守り訪問、ひとり暮らし高齢者バスハイク、ふれあいクリスマス会、介護予防いきいき交流会(11回)、理事研修会
大島地区	【大島地区福祉会】	葬祭事業、愛の声かけ運動、各区対抗スポーツ大会、敬老会、新成人式を祝う会、地域まつり

## ②福祉会新役員研修会

■事業説明：福祉会の新任役員を対象に福祉会活動についての研修を行いました。

実施時期	場 所	主な内容
6月4日	メイトム宗像 202会議室	内 容：①福祉会について ②いきいきふれあいサロン（介護予防いきいき交流会事業）について・他 参加者：福祉会の新任役員 19人

## ③災害時要援護者の把握も含めた小地域ネットワーク活動の充実

■事業説明：小地域ネットワーク活動とは、民生委員児童委員と福祉会の地域ケア型ボランティア、老人クラブや地域の事業所が連携・協力して、単身高齢者世帯等への定期的な見守り・訪問活動・できる範囲での生活援助活動などを行う活動。

## （2）地区別地域福祉活動計画の策定支援

■事業説明：住民主体・住民参画による地域福祉を充実・推進するため、また地域特性に基づいた地域福祉活動を福祉会が計画的に推進するため、地区別福祉活動計画の策定を支援しています。

策定年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
地区名	東郷地区	自由ヶ丘地区	南郷地区	吉武地区	日の里地区

## （3）介護予防いきいき交流会事業の実施と事業の充実（市委託事業）

### ①介護予防いきいき交流会事業

■事業説明：高齢者の閉じこもり予防や日常の健康を維持することを目的とした「サロン活動」を活用し、さらに介護予防の内容を充実させた事業を行っています。なお、介護予防いきいき交流会事業には、「地島ミニデイサービス」と「大島DEいきいき元気教室」も含まれています。

■事業内容：●各区、町内会で行われている高齢者等を対象にしたサロン活動において、血圧、体脂肪等の測定及び簡単な健康相談などの健康チェックを実施。  
●介護予防メニューとして、口腔ケア、栄養指導、運動指導を実施。

■運営体制：市から本会への委託事業。各福祉会が実施し、本会は支援、協力、調整などを行っています。

地区ごとの実施状況	開催箇所 (単位：ヶ所)	開催回数 (単位：回)	口腔ケア (単位：回)	栄養指導 (単位：回)	運動指導 (単位：回)
吉 武 地 区	8	9	1	4	2
赤 間 地 区	8	54	2	3	6
赤間西地区	10	73	1	7	6
自由ヶ丘地区	10	69	0	0	6
日の里地区	12	54	0	1	0
南 郷 地 区	12	56	2	7	6
河 東 地 区	6	28	0	1	3
東 郷 地 区	10	57	0	5	3
池 野 地 区	6	19	1	4	3
田 島 地 区	1	11	0	1	1
神 湊 地 区	3	20	2	2	3
岬 地 区	2	2	0	0	0
合 計	88	452	9	35	39

- 事業実績：●延べ参加者数：8,561人（65歳以上）・1,541人（64歳以下）
- 延べ従事者数：4,608人
- 合計：14,710人

### ②介護予防いきいき交流会事業推進協力者研修の実施

- 事業説明：いきいきふれあいサロン活動の内容の充実と活動に関わる人材育成を目的に研修会を開催。
- 実施期日：7月11日（木）13:00～16:00
- 実施場所：日本赤十字九州国際看護大学「オーバルホール」
- 活動内容：基調講演、レクリエーション実践の2部構成で研修会を実施。
  - ◇講演会Ⅰ 「ふれあい・いきいきサロンが地域のつながりをつくる」  
講師 福岡県立大学 准教授 村山浩一郎 氏
  - ◇講演会Ⅱ 「ニギニギ体操」で地域の支え合いを進めましょう！  
講師 福岡市健康づくりサポートセンター 西内久人 氏

参加者数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		275人	266人

### ③地島ミニデイサービス事業の改善と適切な運営

- 事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。毎回健康チェックを実施している。
- 実施場所：宗像市老人福祉センター宗寿園、地島泊公民館

実施時期	参加者数	主な活動内容
6月20日	14人	内容：南蔵院住職講話DVD「豊かに生きる」上映、舞踊鑑賞、ケアビクス、他
7月18日	12人	内容：レガートアンサンブル演奏会「懐かしい唄を歌おう」、舞踊鑑賞、健康講話「あなどれない病気“動脈硬化”」赤間病院副院長
8月22日	18人	内容：健康講話「おいしく食事する！それが元気のコツ」赤間病院管理栄養士、口腔ケア、他
9月19日	14人	内容：ミュージックケア、舞踊鑑賞「千寿佳扇」、健康体操と講話「転倒予防のコツ」赤間病院理学療法士
11月21日	17人	内容：健康レクササイズ、演芸鑑賞（銭太鼓、民謡、三味線）、健康講話「認知症について」赤間病院
2月6日	13人	内容：軽い運動とストレッチ、健康講話「認知症予防について」赤間病院城山庵
2月28日	16人	内容：健康講話「生涯を自立して過ごすために」登録保健師、ケアビクス、次年度の話合い

### ④おおしま DE いきいき元気教室の適切な運営

- 事業説明：離島の高齢者の健康増進と介護予防を目的とした事業。
- 実施場所：大島ふれあいセンター

実施時期	参加者数	主な活動内容
4月17日	16人	スタッフ紹介、体力測定、羽根っこゲーム、悠々体操
6月19日	20人	血圧測定、準備体操、頭の体操、リレーお手玉入れ、悠々体操
9月18日	25人	血圧測定、体力測定、買い物ゲーム、悠々体操
11月20日	20人	血圧測定、リハビリ体操、ボール送り、○×ゲーム、悠々体操
1月22日	21人	血圧測定、体力測定、県名クイズ、表彰、悠々体操
3月19日	20人	血圧測定、体操、転がし卓球、賞状渡し、悠々体操

#### (4) 地区福祉会連絡協議会の活動状況

■事業説明：福祉会相互の情報交換、交流、研修等を通じ、それぞれの地域における福祉会活動を促進するとともに、市民参画型の地域福祉活動の充実を図ることを目的に平成9年設置。各地区福祉会の会長、事務局長等、代表2名で構成しています。

実施事業	実施時期	主な活動内容
理事会（総会）	5月30日	①平成24年度事業報告・決算報告及び監査報告について ②役員承認について ③平成25年度事業計画・予算について
先進地視察研修	6月26～27日	研修先：熊本県菊陽町社会福祉協議会 研修内容：①菊陽町の概要及び小地域福祉活動について ②孤立防止ネットワークの取り組みについて ③菊陽キャロットサービス事業について
第1回 情報交換会	6月27日	先進地視察研修2日目に実施 テーマ：孤立防止、つながりづくりのためのネットワーク活動やサロン活動について
第2回 情報交換会	12月11日	テーマ：地区別地域福祉活動計画の重点事業 発表地区：東郷地区／自由ヶ丘地区／南郷地区／吉武地区

#### (5) 宗像市民生委員児童委員協議会と連携・支援

■事業説明：宗像市民生委員児童委員協議会と連携・協働して小地域ネットワーク活動の推進、生活福祉資金の運営、歳末たすけあい募金、その他多くの地域福祉活動を推進しています。

■宗像市民生委員児童委員協議会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	299,000円	299,000円	299,000円

#### (6) 福祉バス貸出事業の適切な実施

■事業説明：研修や社会参加活動のため、福祉バスの貸出を行いました。

貸出件数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	108件	99件	110件

#### (7) ライフサポート事業の実施【新】

##### ①ライフサポート事業(地域福祉権利擁護事業)

■事業説明：本会独自事業として、高齢者、精神障がいがある人、知的障がいがある人などで、判断能力が不十分な人の権利を擁護し、自分の意思に基づいて安心した生活を送ることができるよう支援する事業を平成25年8月1日から実施しました。本事業の利用の可否等を専門的な立場で判断する「運営審議会」の設置、市民後見人の養成の一環として「市民生活支援員」の登録を行っています。また、生活保護者を主とした従来からの県社会福祉協議会実施主体の「日常生活自立支援事業」もあわせて実施しています。

■支援内容：①生活支援サービス…定期訪問による見守り、郵便物の管理 等  
②生活費管理サービス…福祉サービス利用援助、日常必要な預貯金の出入れ 等  
③通帳等預かりサービス…預貯金の通帳の保管や管理 等

■職員体制：生活支援員3名（うち2名は兼務）、市民生活支援員6名登録

■ ライフサポート事業利用実績

項目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	実績	実績	前年比較	実績	前年比較	
高齢者	—	—	—	8人	—	
知的障害者	—	—	—	9人	—	
精神障害者	—	—	—	4人	—	
その他	—	—	—	1人	—	
小計	—	—	—	22人	—	
解約	—	—	—	3人	—	
合計	—	—	—	19人	—	

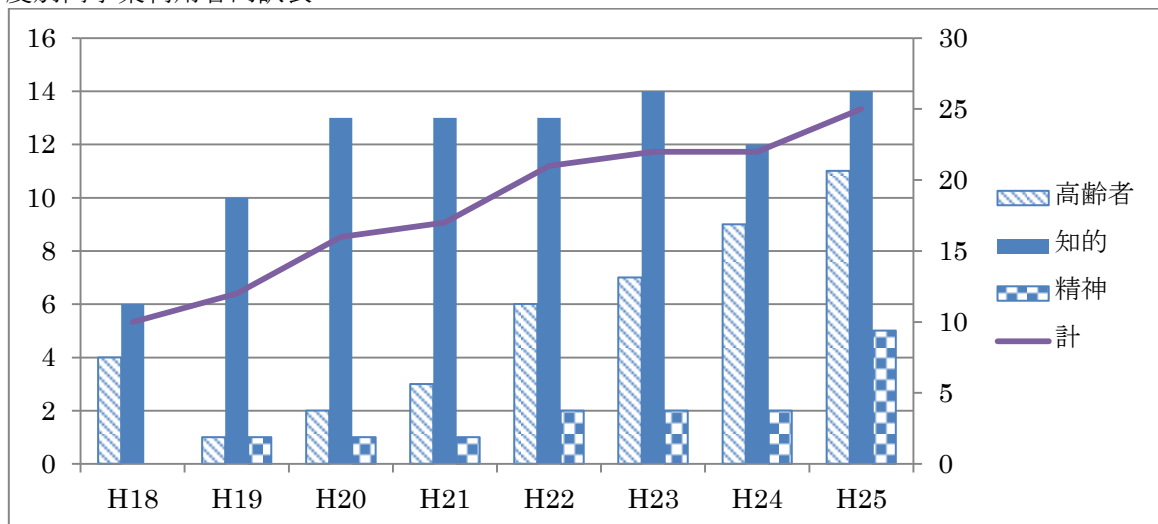
■ ライフサポート事業利用内容

項目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	実績	実績	前年比較	実績	前年比較	
生活支援サービス	—	—	—	22人	—	
生活費管理サービス	—	—	—	18人	—	
通帳等預かりサービス	—	—	—	16人	—	

※日常生活自立支援事業利用実績（県社会福祉協議会委託事業）

項目	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
	実績	実績	前年比較	実績	前年比較	
高齢者	7人	9人	2人	7人	-2人	
知的障害者	14人	12人	-2人	6人	-6人	
精神障害者	2人	2人		2人		
その他	0人	0人		0人		
小計	23人	23人		15人	-8人	
解約	1人	1人		9人	8人	
合計	22人	22人		6人	-16人	

■ 年度別両事業利用者内訳表



② 運営審議会の開催

■ 審議委員：弁護士、宗像・遠賀保健福祉環境事務所（健康増進課精神保健係長）、宗像市役所（保健福祉政策課保健福祉政策係長、福祉課障害者福祉係長、高齢者支援課地域包括支援係長）、社会福祉協議会（福祉企画課長） 計 6 人

■開催日程と主な内容

項目	実施時期	主な内容
第1回審議会	6月25日	内 容：①委嘱状の交付 ②事業説明 ③会長及び副会長の互選 ④審議 審議人数：11人（移行）
第2回審議会	8月26日	内 容：①契約状況について ②市民支援員の雇用状況について ③周知について ④審議 ⑤個別ケースの対応について 審議人数：2人（新規）
第3回審議会	10月16日	内 容：①契約状況について ②個別ケースの報告について ③審議 審議人数：4人（新規）
第4回審議会	12月16日	内 容：①契約状況について ②個別ケースの報告について ③審議 審議人数：3人（新規）
第5回審議会	2月17日	内 容：①契約状況について ②審議 審議人数：4人（新規）

③その他の活動

項目	実施時期	主な内容
ケース会議	月1回開催	内 容：個別ケースの支援内容の検証と情報の共有化のための会議を毎月行いました。
県日常生活自立支援事業第1回契約締結審査会	5月21日	内 容：県社協が実施する日常生活自立支援事業の契約締結審査会に参加した。 場 所：クローバープラザ
県社会福祉協議会生活支援員研修	1月10日	内 容：精神障害に関する理解と相談援助技術について 場 所：クローバープラザ

※詳しくは本会ホームページをご参照ください。  
QRコードをスマートフォンやタブレット端末、カメラ付携帯等で読み取り頂くことで直接本会ホームページを閲覧・ダウンロードすることができます。



**（8）宗像市遺族会連合会活動への助成**

- 事業説明：宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付を行っています。
- 宗像市遺族会連合会へ活動費補助金の交付。

補助金交付額	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	952,000円	923,000円	894,000円



## 4. 広報広聴活動の推進

### (1) 社協だよりの発行

■事業説明：市広報紙タウンプレスむなかたを利用して年6回（偶数月の1日号）発行。市民に地域福祉や本会活動についての理解と啓発を図っています。

実施時期	記事の内容	QRコード
■第145号 4月1日発行 (2項)	福祉教育読本「ともに生きる」感想文と福祉絵画コンクール、在宅介護者応援セミナー、チャリティボウリング大会お礼、指定管理施設「ふれ愛センター」案内、配食サービスin大島紹介、ボランティアセンター通信(手話講習会受講者募集)、他	
■第146号 6月1日発行 (2項)	平成26年度社会福祉協議会事業計画・予算、地域福祉文庫講演会参加者募集、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン、ボランティアセンター通信(おもちゃ図書館の利用案内・スタッフ募集、手話講習会参加者募集)、くりえいと桜まつり収益金寄付、他	
■第147号 8月1日発行 (2項)	シリーズ16「ライフサポート事業の紹介」、平成24年度社会福祉協議会決算報告、障害者生活支援センター(ピアサポート事業参加者募集と報告)、在宅介護者1泊リフレッシュセミナーの案内、ボランティアセンター通信(ジュニアボランティアスクール参加者募集)、他	
■第148号 10月1日発行 (3項)	共同募金協力のお願い(たすけあいの心、前年度実績額、使いみち、計画募金、目標額、目安額、支えられている募金、共同募金の活用事業「地域福祉文庫講演会、母子寡婦福祉会」)、シリーズ17「ライフサポート事業の紹介 vol.2」、母子寡婦福祉会バスハイク参加者募集、他	
■第149号 12月1日発行 (2項)	シリーズ18「おもちゃ図書館活動の紹介・おもちゃの種類、スタッフ紹介、休館日お知らせ」、イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによる贈呈、歳末たすけあい募金協力依頼、寄付謝礼(サニックススポーツ振興財団、博多のびっこ幼稚園)、ボランティアセンター通信、他	
■第150号 2月1日発行 (3項)	歳末募金謝礼及び寄付者名簿、シリーズ19「1人暮らし高齢者を子どもたちが応援」、チャリティボウリング大会募集、赤い羽根共同募金お礼、寄付謝礼「プロレスリング華激、岡垣第一幼稚園、藤島部屋」、障害者生活支援センター(ピアサポート事業参加者募集・報告)、他	

※QRコードをスマートフォンやタブレット端末、カメラ付携帯等で読み取り頂くことで直接当該社協だよりをダウンロード・閲覧することができます。

### (2) 本会ホームページの管理・運営

■事業説明：インターネットを利用して市内外の人々に24時間体制で情報を提供するとともに、「社協だよりの」や「ボランティアセンターだよりの」、また本会の各種計画や地区福祉会の地域福祉活動計画等のデータベース化を図っています。

■実施内容：本会ホームページの管理・運営を行いました。「バナー」広告に関しては、空きがないように努め、全区画ご利用いただいています。なお、平成25年度よりアクセスログイン数については、より正確な数値を得るため、集計方法を改めた(高機能なアクセスログ解析ツールである「グーグルアナリティクス」に変更した)。

アクセス ログイン数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	63,446 件	82,388 件	28,064 件

### (3) 本会広報宣伝用 DVD の作成・活用

■事業説明：本会の活動を広く市民に周知するための一つの方法として、広報宣伝用 DVD を作成しました。

#### ■活用実績

項目	実施時期	主な内容
いきいきふれあいサロン研修会	7月11日	内 容：開会までの間、参加者に繰り返し上映 視聴者数：237人
福祉教育セミナー	8月9日	内 容：開会までの間、参加者に繰り返し上映 視聴者数：187人

## 5. 心配ごと相談事業の実施

### (1) 心配ごと相談所設置事業

■事業説明：心配ごと相談所への相談は、近年多様化・増加しています。主に人権・法律、財産、離婚、家族関係の相談が全体の約7割を占めています。相談員は3人で、相談は個別（個室）面接方式で行っています。

■相談日：①毎月第1・2・4木曜日・場所：市役所1階

②偶数月第3木曜・場所：日の里コミセン

③奇数月第3木曜・場所：自由ヶ丘コミセン

■相談員：3名 ■相談件数合計：585件 ■利用者数：226名

#### ■相談件数及び相談内容

内 容		人 権 法 律	財 産	家 族 関 係	離 婚 結 婚	生 計 年 金	住 宅	事 故	健 康 医 療	職 業 生 業	苦 情	福 祉 関 係	そ の 他	合 計
件 数	平成 23 年度	186	148	96	60	21	49	5	7	4	19	9	14	618
	平成 24 年度	146	94	111	55	37	39	10	26	5	7	11	19	560
	平成 25 年度	125	110	95	66	57	56	2	15	9	7	16	27	585

## 6. 高齢者福祉事業の推進

### (1) 宗像市在宅介護者支援事業(市委託事業)

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者に、より良い介護が継続できるように、介護研修やリフレッシュ事業を行っています。

実施事業	実施時期	主な活動内容
在宅介護者応援セミナー	7月19日	研修先：福岡市地域介護実習・普及センター 講 師：同センター相談員 内 容：福祉用具の見学・相談について 参加者数：19人
一泊リフレッシュセミナー	10月24～25日	訪問先：大分県九重・別府方面 宿泊先：このえ悠々亭（大分県玖珠町九重町） 内 容：滞在型リフレッシュ事業 参加者数：23人
一日リフレッシュセミナー	12月9日	訪問先：グランドハイアット福岡（福岡市） 内 容：交流会型リフレッシュ事業 参加者数：30人

## (2) 在宅介護家族の会ひまわり活動助成支援

■事業説明：在宅で家族の介護をしている介護者の当事者組織である「ひまわり」に、人的・資金的支援を行っています。

■宗像市在宅介護家族の会“ひまわり”への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	116,000 円	116,000 円	126,000 円

## (3) 宗像市老人クラブ連合会と連携・支援

■事業説明：宗像市老人クラブ連合会と連携・協働して小地域ネットワーク活動やいきいき介護予防交流会事業の推進、赤い羽根共同募金やその他多くの地域福祉活動を推進しています。

■宗像市老人クラブ連合会への活動費補助金の交付

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	512,000 円	512,000 円	512,000 円

## (4) 鍼灸治療費補助事業

■事業説明：高齢者の健康維持のため、社会保険加入者に限り鍼灸治療費の一部を補助。平成 20 年度より後期高齢者医療被保険者についても市の委託により本会で一部補助を開始しました。

■鍼・灸治療費の助成内容：一回につき 500 円、月 5 回まで

鍼灸延べ 利用件数	保険種別	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	社会保険被保険者	758 件	850 件	944 件
	後期高齢者医療被保険者	3,420 件	3,291 件	3,119 件

## (5) 認知症サポーター養成講座事業（市委託事業）【新】

■事業説明：全国キャラバン・メイト連絡協議会が主になって推進している「認知症サポーター 100 万人キャラバン事業」の一環で市から受託して今年度から実施しています。この講座は、誰もが認知症について正しい知識を持ち、認知症の人やその家族の「尊厳ある暮らし」を守り、認知症になっても安心して暮らせるまちを目指しています。また、当会職員が講師役「キャラバン・メイト」養成講座を受講し、学んだ知識や体験などを踏まえ、地域、学校、職場などで養成講座を開催しています。

■事業実績：講座開催数 計 9 回・受講者数：239 人

回	日程	対象者	人数
1	6 月 1 日	東海大学第五高等学校生徒及び教師、大学生ボランティア	16
2	8 月 21 日	宗像市内の小学生及び中学生、大学生ボランティア	26
3	9 月 12 日	中央中学校 2 年生	2
4	11 月 30 日	宗像高等学校生徒及び教師	23
5	12 月 10 日	宗像市役所職員	15
6	1 月 27 日	自由ヶ丘小学校 5 年生及び担任	92
7	1 月 29 日	市内高齢者施設職員	19
8	2 月 26 日	宗像市内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校の教諭	19
9	2 月 27 日	宗像市内の 10 代から 70 代の市民	27
合計	9 回		239

## (6) 給食サービス事業

■事業説明：主に玄海地区で高齢者への「ふれあい型給食サービス事業」を実施しているボランティア団体へ助成を行っています。

助成額	団体名	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	浜ゆうの会	139,000 円	133,510 円	144,000 円
	じょうもんさん会	61,000 円	66,490 円	56,000 円

# 7. 障がい児者福祉事業の推進

## (1) 車イス貸与事業

■事業説明：高齢者や障がいのある人などを対象に、一時的な車イスの貸出しを行っています。

延べ利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	110 件	166 件	205 件

## (2) 障がい児者福祉団体活動への支援

### ①宗像市あゆみの会活動への助成・支援

■内 容：宗像市あゆみの会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	410,000 円	410,000 円	360,000 円

### ②宗像市身体障害者福祉協会活動への助成・支援

■内 容：宗像市身体障害者福祉協会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	693,000 円	693,000 円	693,000 円

### ③あじさいの会活動への助成・支援

■内 容：障がい者とボランティアが協働で社会参加活動を行う「あじさいの会」へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	58,000 円	58,000 円	58,000 円

### ④戦傷者の会への助成

■内 容：平成 24 年度で会が解散したため、平成 25 年度の助成実績はありません。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	57,000 円	57,000 円	—

### ⑤宗像コスモス会への助成

■内 容：精神に障害がある人とその家族で構成する福祉団体コスモスの会へ活動費補助金を交付。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	400,000 円	400,000 円	400,000 円

### ⑥(障がい者) パソコンクラブへの支援

■内 容：障がい者で構成される社会参加型のパソコンクラブ。本会の福祉教育読本ともに生きる感想文集のデジタル化(パソコン入力)を毎年依頼している。

委託金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	25,400 円	27,000 円	25,400 円

### (3) 障がい者等への情報配信事業

#### ①手話講習会事業

- 事業説明：コミュニケーション方法のひとつ「手話」を学び、「聴覚障がい」と聴覚障がいや難聴の人の理解促進を図る事業です。
- 会場：●火曜・土曜コース…メイトム宗像  
●金曜コース…玄海地区コミセン
- 講習会日時：●火曜コース…19時から21時、金曜コース…13時30分から15時30分  
●土曜コース…13時から15時
- 運営委託：①手話サークル「シュワッチ」 ②玄海手話サークル「ゆび」

活動実績	平成23年度		平成24年度		平成25年度	
	回数	参加数	回数	参加数	回数	参加数
火曜	38回	569人	38回	569人	37回	475人
金曜	40回	467人	40回	467人	40回	432人
土曜	34回	1,266人	34回	1,266人	34回	1,299人
合計	112回	2,302人	112回	2,302人	111回	2,206人

#### ②声の広報配布事業

- 事業説明：視覚に障害がある市民へ、市や地域の情報を届けるため、毎月2回宗像市広報「むなかたタウンプレス」(1日・15日号)等を音訳、デジタル録音したCD-Rやカセットテープ等に録音し、配布する事業です。
- 委託団体：日の里テープの会・日の里いずみの会・森林都市うぐいす

利用者数 (視覚障がい者)	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	24人	25人	22人

#### ③要約筆記ボランティア事業

- 事業説明：要約筆記活動を軸に、聴覚・言語・音声機能などの障がいのために意思疎通を図ることに支障がある人に対するボランティア活動です。過去、本会が実施した福祉ボランティア養成講座「要約筆記ボランティアコース」受講者を中心に、今年度6月にボランティア団体「暖歩(ダンボ)」を発会しました。

##### ■活動内容

実施日	場所	主な活動内容
6月8日	メイトム宗像 202会議室	発会式
毎月1回開催 ※原則第2土曜10時から	メイトム宗像 101会議室他	定例会及び学習会(平成25年7月以降) ●パソコン要約筆記学習 ●手書きによる要約筆記学習

### (4) おもちゃ図書館の運営

- 事業説明：障がいのある人や子ども、高齢の人が「布のおもちゃ」等の療育遊具等で遊びながら療育を行うことができる施設です。おもちゃの貸し出しも行っています。館の運営、布おもちゃの作成はボランティアに委託しています。今年度から市内小学校特別支援学校などに「出張おもちゃ図書館」も開始しました。
- 開館場所：メイトム宗像別館「居宅介護支援センター」1F
- 開館日時：毎週木曜日14:00~17:00・第2・4土曜日14:00~16:00
- 運営委託：宗像おもちゃライブラリー

活動実績	項目/年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	制作点数	9点	11点	11点
	貸出し件数	374件	494件	493件
	延べ利用入館者数	272人	566人	437人
出張おもちゃ図書館	—	—	5回	

■出張おもちゃ図書館：おもちゃ図書館に来所することが困難な団体などに対し出張訪問する。

日程	訪問先	利用者数
6月26日	玄海小、玄海東小、玄海中合同交流会（玄海小学校）	7人
8月10日	世界一行きたい科学広場 in 宗像（宗像ユリックス）	480人
12月24日	げんきっこクラブ「ほっぷ」（河東小学校）	12人
平成26年1月24日	日の里西小、日の里東小合同交流会（日の里西小学校）	39人
平成26年3月2日	メイトム春まつり（メイトム宗像）	700人
合計	5回	1,238人

#### （5）車イス移送車貸出事業

■事業説明：高齢または障がいのある車イス利用者が、地域の行事などの社会参加や通院など、自由に外出できるよう車イス移送車を貸し出し、支援する事業です。

活動実績	項目／年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
	利用登録数	個人	21人	22人	16人
		団体	1団体	1団体	1団体
貸出数	リフトカー	13回	9回	—	
	スロープカー	42回	35回	29回	

※平成25年度はスロープカーのみの貸し出し。

## 8. 低所得者福祉事業の推進

#### （1）生活福祉資金貸付事業（福岡県社会福祉協議会委託事業）の推進

■事業説明：生活福祉資金は、低所得者の経済的自立や生活意欲の助長を促進し、安定した生活を営めるようにするための資金貸付制度です。平成21年度には、世界的長期経済金融情勢の悪化に伴い、日本においても多くの非正規労働者などが雇用や住居を失う事態となったため、この制度が大きく改正され、失業者への再就職支援、生活や住居維持の総合的な支援ができる「総合支援資金」が新設されました。資金の種類としては、高校・大学などへの進学や高校卒業を支援する「教育支援資金」や生活保護受給までのつなぎとしての「緊急小口資金」などがあります。

貸付実績	項目／年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	教育支援資金	13件	11件	17件
	福祉費	3件	3件	3件
	緊急小口資金	19件	13件	29件
	臨時特例つなぎ資金	2件	0件	1件
	総合支援資金	18件	9件	2件
	合計	55件	36件	52件

#### （2）歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

##### ①歳末たすけあい募金配分委員会

■事業説明：集まった募金について、募金配分先や金額等を協議する会議。

実施日	場所	主な内容
12月22日	メイトム宗像 203会議室	配分委員会において平成25年度募金実績額の報告及び平成25年度募金配分計画等について協議・決定を行った。

## ②歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

■事業説明：歳末たすけあい募金の実施に関して宗像市民生委員児童委員協議会と協働して取り組んでいます。

■実施内容：民生委員・児童委員が商店や企業などを訪問して歳末募金を行い、福祉団体等や生活困窮者、各福祉会へ募金の配分を行いました。

■実施期間：11月1日～12月31日

活動実績	項目／年度		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	募 金 実 績 額		2,458,368 円	2,273,484 円	2,311,195 円
配 分 金 額	生活困窮者世帯 【世帯数】		70,000 円 【14世帯】	80,000 円 【16世帯】	45,000 円 【9世帯】
	※福祉団体等		664,000 円	621,680 円	654,000 円
	地区福祉会		1,724,000 円	1,564,000 円	1,609,000 円
	共同募金へ繰入		368 円	7,804 円	3,195 円

※福祉団体等：子育てサロン・子育てサークル、福祉団体、ボランティアグループ

## 9. 母子寡婦福祉事業の推進

### (1) 宗像市母子寡婦福祉会活動助成支援

■事業説明：母子家庭の母親の就労支援や子育て支援、福祉の向上を図るため、宗像市母子寡婦福祉会活動への支援・協力を実施

■活動内容：宗像市母子寡婦福祉会へ活動補助金の交付ならびに役員会への参加、事業の活動支援等を行いました。

■活動支援の内容

実施時期	実施事業	主な活動内容
10月20日	一日バスハイクへの支援	訪問先：グリーンランド（旧・三井グリーンランド） 参加者：30人 支援内容：事業に関する連絡調整や参加者の募集、事業の進行や安全管理等について協力を行いました。
2月に1回程度	サロン活動支援	実施回数：4回 のべ参加者：127人 支援内容：会員親子の交流と新規会員確保のための川遊びやヨガ教室、クリスマス会等の実施に関する協力を行いました。

## 10. 子育て子育て支援事業の推進

### (1) 地域福祉文庫連絡協議会活動助成支援

■事業説明：地域の子どもたちに本の楽しさ、面白さを知ってもらうために、地域福祉文庫の設置を行っています。現在では5文庫が活動を行っています。平成18年に、5つの文庫による連絡協議会を設立しました。

■活動内容：各文庫間の情報交換、絵本の素晴らしさや絵本を通じた親子のふれあいの大切さなどを伝えるための活動を支援。また、各文庫活動の質の向上を図るため、会員の研修会の実施を支援しました。

実施事業	実施時期	主な活動内容
講演会	7月22日	場 所：メイトム宗像 202 会議室 演 題：高齢者にも絵本を！ 講 師：九州大谷短期大学 助教 梅野智美氏 内 容：高齢者への読み語りの方について

■助成内容：宗像市地域福祉文庫連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	306,000 円	286,000 円	286,000 円

## (2) 子育て・子育て支援事業の充実

### ①こねっと活動助成支援

■助成内容：子育て支援事業の重要性に鑑み、平成 25 年度より宗像子育てネットワークこねっとへの活動費補助金の交付を開始。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	—	—	40,000 円

### ②子育てサロンや子育て支援団体活動への助成支援

■事業説明：歳末たすけあい募金の中から、配分を希望する子育てサロンや子育て支援団体へ活動資金の助成を行っている。 ※（ ）内の数字は助成団体数

補助金交付額	交付団体	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	子育てサロン	250,000 円 (9)	258,000 円 (9)	284,000 円 (10)
	子育て支援団体	170,000 円 (6)	178,680 円 (6)	140,000 円 (5)

### ③宗像市子育て関係機関連携会議への参加

■事業説明：宗像市が主催する子育て支援団体、児童関係機関の会議には、宗像市「子ども家庭課（子ども保健係、子ども家庭係）」「子ども育成課」「図書課」「コミュニティ・協働推進課」「男女共同参画推進課」「発達支援センター」「子育てネットワーク（こねっと）」「主任児童委員代表」「秘書政策課」と本会が主に参加しています。

#### ■活動内容

事業名	実施時期	主な活動内容
第 1 回会議	5 月 13 日	場 所；宗像市役所 内 容；①新担当者紹介 ②各団体の年間スケジュールについて
第 2 回会議	9 月 19 日	場 所；メイトム宗像 内 容；①各団体からの連携事業・中間報告 ②その他

## 11. 災害救援ボランティア活動連絡協議会の運営

### (1) 災害援助ボランティア活動連絡協議会の運営の運営

■事業説明：宗像市で災害等が発生した場合に、宗像市災害対策本部の要請を受け本会が設置する「災害救援ボランティアセンター」の運営に関わる機関や団体で構成する協議会。平常時においては、連携の確認や市外の被災地への支援等について協議している。

### (2) 災害救援ボランティアセンターの設置・運営に関するガイドラインの見直し

■事業説明：現在本会が運用している「非常・災害時職員行動計画書Ⅳ～非常・災害時における行動の手引き（平成 25 年度版）～」における「災害救援ボランティアセンターの設置・運営の手引書」が、阪神大震災や福岡西方沖地震発生当時を基準としていたため、近年の東日本大震災や九州北部豪雨を基準とした「災害救援ボランティアセンターの設置・運営の手引書」に改めるため、職員委員会を設置し、研修や検討を行いました。職員委員会は、平成 26 年度に災害救援ボランティア活動連絡協議会へ改正案提案できるよう作業を進めました。



## ■活動内容

事業名	実施時期	主な活動内容
第1回委員会	8月28日	場 所：メイトム宗像 204 会議室 内 容：①標記委員会の概要説明 ②災害救援ボランティアセンターに関する学習会
第2回委員会	10月25日	場 所：柳川市社会福祉協議会 内 容：①九州北部豪雨災害時の被災状況について ②サテライト型災害ボランティアセンターの組織と活動概要について ③災害ボランティアセンターの設置運営に関する成果と反省について
第3回委員会	3月5日	場 所：メイトム宗像 103 会議室 内 容：①災害救援ボラセン設置・運営ガイドライン見直し素討について ②その他

## ■研修会への参加

事業名	実施時期	主な活動内容
防災士スキルアップ研修会	基礎研修：1月26日 専門研修：2月2日	場 所：ホテルレガロ福岡 参加者：1名 内 容：①プレゼンテーションスキル向上研修 ②防災気象講演「災害と気象情報」 ③防災講演ならびに災害図上訓練、他

# 12. 福祉教育の推進

## (1) 福祉教育推進校（園）指定事業

### ①福祉教育推進校（園）の指定

■事業説明：平成18年度から福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校を対象に「推進校」を指定し、子どもへの福祉教育を推進・強化しています。

指定校（園）数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	<b>■福祉教育推進校</b> ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 <b>【計：28校・園】</b>	<b>■福祉教育推進校</b> ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 <b>【計：28校・園】</b>	<b>■福祉教育推進校</b> ①幼稚園（推薦園）2園 ②保育園（推薦園）2園 ③小学校15校 ④中学校7校 ⑤高校2校 <b>【計：28校・園】</b>

### ②福祉教育推進校（園）への福祉体験学習等の支援

■事業説明：福祉教育推進校（園）が実施する福祉体験学習等の実施を支援しています。

■実施校数：11校

■支援回数：92回（日）

対象者数	学校／学年	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
	小学校	52人	39人	370人	723人	370人	342人	1,896人
中学校	0人	0人	0人				0人	
							平成25年度 合計	1,896人
							平成24年度 合計	1,700人

■主な支援内容

学校名	対象者	主な活動内容
吉武小学校	4年生 (12人)	<p>■実施日：10月24日・29日・30日・11月1日</p> <p>■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、保護者</p> <p>■主な内容：ガイド・アイマスク・点字体験、視覚障がい者との交流</p>
	4年生 (12人)	<p>■実施日：1月28日・31日・2月7日</p> <p>■主な協力者：聴覚障がい者・手話サークル「シュワッチ」保護者</p> <p>■主な内容：モコ体験(聞こえない世界についての学習)・手話体験、聴覚障がい者との交流</p>
赤間小学校	4年生 (150人)	<p>■実施日：6月5日・11日・21日・24日・28日</p> <p>■主な協力者：視覚障がい者、ガイドボランティア「アイフレンド」、点訳ボランティア「てんとうむし」、保護者</p> <p>■主な内容：ガイド・アイマスク体験、点字体験、視覚障がい者との交流</p>
	5年生 (157人)	<p>■実施日：2月19日・24日・27日・3月4日</p> <p>■主な協力者：車いす利用者、保護者</p> <p>■主な内容：車いす体験学習、車いす利用者との交流</p>
	6年生 (161人)	<p>■実施日：11月20日・26日・27日</p> <p>■主な協力者：保護者</p> <p>■主な内容：高齢者疑似体験</p>
自由ヶ丘小学校	5年生 (95人)	<p>■実施日：7月8日・10月16日・17日・23日・24日・11月29日、1月27日</p> <p>■主な協力者：校区内の高齢者・自由ヶ丘地区福祉役員と福祉委員・保護者</p> <p>■主な内容：地域高齢者との交流(2回)・自由ヶ丘地区の現状と高齢者の見守り活動についての講話・高齢者疑似体験・認知症サポーター養成研修</p>
自由ヶ丘南 小学校	3年生 (64人)	<p>■実施日：2月12日</p> <p>■主な協力者：手話ボランティア「シュワッチ」・聴覚障がい者</p> <p>■主な内容：手話体験・聴覚障がい者との交流</p>
	4年生 (68人)	<p>■実施日：10月10日・15日・28日</p> <p>■主な協力者：点訳ボランティア「てんとうむし」・視覚障がい者</p> <p>■主な内容：アイマスク体験・点字体験・視覚障がい者との交流</p>
赤間西小学校	3年生 (76人)	<p>■実施日：1月24日・2月10日・28日・3月10日</p> <p>■主な協力者：聴覚障がい者・手話ボランティア「シュワッチ」</p> <p>■主な内容：モコ体験(聞こえない世界についての学習)・聴覚障害者との交流・グループ別深める学習・福祉教育活動発表</p>
	4年生 (73人)	<p>■実施日：9月6日・11日・12日・18日・30日・10月29日</p> <p>■主な協力者：点訳ボランティア「てんとうむし」・ガイドボランティア「アイフレンド」・音訳サポーター・視覚障がい者</p> <p>■主な内容：点字体験・アイマスク体験(保護者・教職員・児童)・音訳体験・視覚障がい者との交流・グループ別深める学習・福祉教育活動発表</p>
	6年生 (81人)	<p>■実施日：9月13日・25日・10月16日・30日・11月20日・12月18日・2月27日</p> <p>■主な協力者：赤間西地区福祉役員・地区内小地域福祉役員・保護者・地域の高齢者・市役所・警察・赤間西地区コミュニティ役員</p> <p>■主な内容：赤間西地区の現状・高齢化に関する講話・高齢者疑似体験・ふれあい地域調査活動・地域ボランティアについての講話・提言の会(赤間西10年後プラン)・感謝の会</p>

東郷小学校	3年生 (79人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：10月9日・18日・22日・11月5日</li> <li>■主な協力者：聴覚障がい者・手話ボランティア「シュワッチ」</li> <li>■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験</li> </ul>
	4年生 (92人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：9月17日・10月1日・9日・16日・31日・11月6日・19日</li> <li>■主な協力者：視覚障がい者・手話ボランティア「シュワッチ」</li> <li>■主な内容：点訳体験、視覚障がい者との交流会</li> </ul>
日の里西小学校	3年生 (48人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：9月27日・10月21日・28日・11月13日・18日</li> <li>■主な協力者：聴覚障がい者・手話ボランティア「シュワッチ」</li> <li>■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験、保護者へ発表</li> </ul>
	4年生 (76人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：9月27日・10月11日・22日・11月5日・11日・12日</li> <li>■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」</li> <li>■主な内容：アイマスク・ガイド体験、児童による保護者への体験</li> </ul>
	5年生 (67人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：6月20日・6月24日</li> <li>■主な協力者：車いす利用者</li> <li>■主な内容：車いす体験、車いす利用者との交流会</li> </ul>
	6年生 (46人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：2月6日</li> <li>■主な協力者：社協</li> <li>■主な内容：高齢者疑似体験</li> </ul>
日の里東小学校	1年生 (52人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：2月14日</li> <li>■主な協力者：聴覚障がい者・手話ボランティア「シュワッチ」</li> <li>■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験</li> </ul>
	2年生 (39人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：2月14日</li> <li>■主な協力者：聴覚障がい者・手話ボランティア「シュワッチ」</li> <li>■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験</li> </ul>
	4年生 (53人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：10月3日・15日</li> <li>■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」</li> <li>■主な内容：アイマスク・ガイド体験（保護者、児童）、視覚障がい者との交流会</li> </ul>
	5年生 (51人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：3月7日</li> <li>■主な協力者：車いす利用者</li> <li>■主な内容：車いす体験</li> </ul>
	6年生 (54人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：3月6日</li> <li>■主な協力者：車いす利用者</li> <li>■主な内容：車いす体験</li> </ul>
河東小学校	3年生 (103人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：1月18日、2月17日、18日</li> <li>■主な協力者：聴覚障がい者・手話ボランティア「シュワッチ」</li> <li>■主な内容：聴覚障がい者との交流・手話体験等</li> </ul>
	4年生 (97人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：9月24日・10月23日</li> <li>■主な協力者：視覚障がい者・点訳ボランティア「てんとうむし」</li> <li>■主な内容：点訳体験、視覚障がい者との交流会</li> </ul>
河東西小学校	4年生 (92人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：10月7日・10日・29日</li> <li>■主な協力者：視覚障がい者・ガイドボランティア「アイフレンド」</li> <li>■主な内容：アイマスク・ガイド体験（保護者、児童）、視覚障がい者との交流会</li> </ul>
玄海小学校	4年生 (10人)	<ul style="list-style-type: none"> <li>■実施日：10月29日・11月1日・7日・20日・28日</li> <li>■主な協力者：視覚障がい者・朗読ボランティア「ふれあい玄海」・手話ボランティア「ゆび」・点訳ボランティア「ねむの会」・保護者・地域の高齢者・神湊地区福祉会</li> </ul>

		<p>■主な内容：アイマスク・ガイド体験、視覚障がい者との交流、手話体験、点訳体験、神湊地区福祉会ふれあいクリスマス会で高齢者との交流会</p>
--	--	--------------------------------------------------------------------------

### ③福祉教育推進校連絡会の実施

■事業説明：「福祉教育推進事業実施要綱」により指定を受けた保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校による福祉教育推進校（園）の連絡会を2回開催しました。

実施事業	実施日時	主な内容
第1回連絡会	<p>■7月3日 ■メイトム宗像 202会議室</p>	<p>①福祉体験学習のご案内 ➡福祉教育の申込等について ②宗像市福祉教育セミナーの開催案内 ③福祉教育読本「ともに生きる」の活用依頼 ④福祉絵画コンクールの協力依頼 ⑤ジュニアボランティアスクール開催案内 ⑥出張おもちゃ図書館についての案内 他</p>
第2回連絡会	<p>■2月26日 ■メイトム宗像 健診室</p>	<p>①福祉教育推進事業に係る報告書類の事務手続きについて ②研修会“認知症サポーター養成講座”の実施 ➡福祉教育での“認知症サポーター養成講座”の実施に向け、担当教職員へデモンストレーション</p>

### ④福祉教育読本「ともに生きる」の配布と活用の推進

■事業説明：市内の小学5年生を対象に福祉読本「ともに生きる」を配布し、読后感想文を募集して、優秀な感想文には表彰を行っている。優秀な作品は「市民活動交流館まつり」当日メインステージで表彰を行い、作品集「ともだち」を作成し、本会ホームページにて公開しています。

■活動内容：市民活動交流館まつり(メイトム春まつり)会場にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品を贈呈しました。

■配布対象：市内全小学校 5年生

■配布冊数：841冊

■応募数：87作品(29クラス)

■表彰日：3月2日「市民活動交流館まつり(メイトム春まつり)」

### ⑤福祉絵画コンクールの開催

■事業説明：福祉教育推進校（園）等の子どもたちやその保護者に、福祉への関心を高めてもらうため「思いやり・優しさ」をテーマに絵画コンクールを実施。

■活動内容：市民活動交流館まつり会場にて入賞作品を展示するとともに表彰式を開催し、記念品を贈呈しました。

■応募対象：市内全保育園・幼稚園・小学校・中学校・高等学校の子ども

■表彰期日：3月2日「市民活動交流館まつり(メイトム春まつり)」

応募作品総数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	317点	694点	317作品

## (2) 地域福祉推進事業所職員研修(ルックルック講座)協力事業

■事業説明：地域の事業所が行う職員研修に「ノーマライゼーション」や「ボランティア」「地域福祉」「ユニバーサルデザイン」等の要素を付加した研修を行う場合に、福祉教育の観点から「地域福祉推進事業所」として研修を支援しています。

実施事業	実施日時	主な内容
(株)グローバルアリーナ職員研修	6月 11・18・25日 計3回	<p>■知的障害者の国際スポーツ大会「スペシャルオリンピックス日本・福岡」大会がグローバルアリーナで開催されるので、受入体制を充実するため、職員の意識改革とサービスの向上を目指した研修を実施した。</p>

		<p>■外見からは、障がいがあることが分かりにくい知的障がいのある人に対する基本的なコミュニケーションや対応方法を学び、その症状に応じた接遇ができるようになることを目指した研修を実施した。</p> <p>参加者：社員全員 58人（社長含む） 場 所：グローバルアリーナ会議室</p>
佐賀市東明館中学校手話研修	10月10日	<p>■市外私立中学校生徒の研修であるため「事業所」と位置付け、グローバルアリーナと連携して研修を実施した。</p> <p>■人数が多いため、全体を5班に分け、手話ボランティア「シュワッチ」10人で対応。聴覚に障がいがある人との交流も含め2時間研修した。</p> <p>参加者：中学2年生70人 教職員5人 計75人 場 所：グローバルアリーナ体育館</p>
宗像市初任層職務支援研修	12月10日	<p>■知的、精神、発達障がいなどに関する知識や、窓口対応等の具体的コミュニケーション方法等について研修した。</p> <p>■またノーマライゼーションやユニバーサルデザインの理念に基づいた福祉事業について研修した。</p> <p>参加者：宗像市職員15人 場 所：宗像市役所202会議室</p>
宗像市役所職員研修	12月10日	<p>■内容は「認知症サポーター養成講座」。本講座の未受講者に対して実施。宗像市初任層職務支援研修後に実施。</p> <p>参加者：宗像市職員20人 場 所：宗像市役所202会議室</p>
高齢者福祉施設さわやかむなかたのもり	1月29日	<p>■内容は「認知症サポーター養成講座」。市内高齢者施設の職員研修であるが、市民の参加も得て実施された。</p> <p>参加者：職員と市民 計19人 場 所：さわやかむなかたのもり食堂</p>

### （3）第9回宗像市福祉教育セミナーの開催

- 事業説明：福祉教育推進校（園）の先生や地域福祉の推進に関わる人に福祉教育への理解と、地域福祉への参画を推進するため、平成17年から宗像市福祉教育セミナーを開催。
- 事業内容：『地域が主役“福祉教育のすすめ”』をテーマに、福祉教育推進校（園）の先生や地域の民生委員や福祉関係者、ボランティアが、ともに宗像市の福祉教育の在り方や進め方について学習しました。
- 実施期日：8月9日(金) 13:30～15:30
- 実施場所：市民活動交流館「メイトム宗像」多目的ホール
- 実施内容

項目	担当	主な内容
プロローグ	宗像市社会福祉協議会 森 眞一福祉企画課長	宗像市社会福祉協議会が推進する福祉教育 ～第2次福祉教育推進計画～
事例報告	赤間西地区福祉会 川平憲一事務局長	赤間西小6年 10年後の赤間西プランを通じた福祉教育の取組みについて
パネルディスカッション	<p>■パネラー 堂園栄一さん（赤間西地区福祉会 会長） 清木泰弐さん（赤間ヶ丘2区 h23年度会長） 井上元喜さん（赤間ヶ丘2区自治会長） 大淵裕三子さん（h24年度 赤間西小6年担任教諭） 江種夕菜さん（h24年度 赤間西小卒業生） 上原みさとさん（h24年度 赤間西小卒業生）</p> <p>■コーディネーター 福岡県立大学 人間社会学部 社会福祉学科 村山浩一郎 准教授</p>	

■参加者数：

参加者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	209 人	190 人	187 人

**(4) 社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ**

■事業説明：将来、社会福祉の専門職もしくは専門資格を取得することを目的として社会福祉の現場(本会)で実習を希望する者の受け入れを福祉教育の一環として行っています。

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
実習生 受入実績	<p>■西南学院大学 4人 期間：8月8日～11月30日(実質24日間)</p> <p>■福岡教育大学 2人 期間：10月1日～10月31日(実質12日間)</p>	<p>■福岡教育大学 5人 期間：6月1日～7月20日(実質12日間)</p> <p>■西南学院大学 1人 期間：8月8日～9月28日(実質24日間)</p> <p>■筑紫女学園大学 3人 期間：8月8日～9月28日(実質24日間)</p> <p>■県立大学大学院 1人 期間：8月8日～9月28日(実質24日間)</p>	<p>■福岡教育大学 2人 期間：7月3日～7月19日(実質12日間)</p> <p>■西南学院大学 1人 期間：8月9日～9月25日(実質24日間)</p> <p>■西南女学院大学 2人 期間：8月9日～9月25日(実質24日間)</p>

**(5) ワクワク WORK の受け入れ**

■事業説明：福祉教育の一環として、市で取り組む「ワクワク WORK」の受け入れを行い、社会福祉協議会の活動やボランティア活動、「赤い羽根共同募金運動」などについて学ぶ機会とし、最終日に学んだことを報告する報告会を実施しました。

■期 間：9月9日(月)～13日(金)の5日間

■内 容：総務・福祉係に2人、のぞみ園に2人 計4人

**(6) 福祉教育サポーター登録事業**

■事業説明：福祉教育の推進に協力するボランティア「福祉教育サポーター」を分野ごとに募集し、登録を行う事業です。今年度は、「音訳」に関する分野での登録を行い、小学校で行う福祉教育にご協力いただきました。

■登録人数：9人

## 13. 活動財源の確保

**(1) チャリティーボウリング大会**

■事業説明：健康づくりとチャリティーを目的としたボウリング大会。市内外の地域福祉推進事業所と市民によって支えられています。

■期 日：2月21日

■会 場：宗像シティボウル(王丸)

■協賛等：市内外の多くの事業所に賞品や資金の提供や宣伝活動、参加協力等を受けている。

事業実績	項目/年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	参加者	116 人	124 人	125 人
	益金額	266,076 円	272,527 円	269,114 円

## (2) 社会福祉援助技術現場実習生の受け入れ

■事業説明：本会が社会福祉援助技術現場実習生の受け入れを行う場合、「受入協力費」として一人一日1,000円を徴収しています。

事業実績	項目／年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	実習期間24日	4人(96,000円)	5人(120,000円)	4人(96,000円)
	実習期間12日	2人(24,000円)	5人(60,000円)	2人(24,000円)
	合計	120,000円	180,000円	120,000円

## (3) 共同募金・宗像市社協自動販売機の設置

■事業説明：自動販売機で飲料水等を買うと本会等に寄付が行われる「寄付つき商品型自動販売機」の設置を推進しています。

■設置状況：設置場所 計11か所 設置台数 計13台

設置台数と実績額	項目／年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
	合計	台数	—	9台	4台
		※金額	—	53,698円	484,052円

※金額には、共同募金配分金は含みません。また自販機電気代支払後の額です。

## (4) 香典返し・一般寄付等の高額寄付者への感謝状の贈呈と初盆参りの実施【新】

■事業説明：香典返しの寄付や一般の寄付などの受け入れを行っています。また今年度から本格的に30,000円以上の寄付者に感謝状を贈呈し、50,000円以上の場合は、初盆参りを実施しました。

事業実績	項目／年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	感謝状贈呈数	—	—	41件
	香典返寄付金	139件(3,132,000円)	158件(3,871,000円)	114件(2,745,000円)
	一般寄付金	9件(519,172円)	13件(388,252円)	10件(688,247円)
	計	148件(3,651,172円)	171件(4,259,252円)	124件(3,433,247円)

## (5) ファンドレイジング（資金調達）に関する調査研究ならびに実験事業の実施【新】

### ① ファンドレイジング（資金調達）に関する研修の実施

■事業説明：「2法人運営に関する事業③理事研修会の開催」に同じ。

### ② 福祉機器貸出の有料化

■貸与品：車イス（自走式・介助式）

■対象者：高齢者や傷病者の介護など一時的に必要な人に貸出を行っています。

■料金等：運営協力費として1回500円

■期間：1～30日間（原則として1回1ヵ月以内ですが、更新2回まで可）

事業実績	項目／年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	運営協力費	55,000円	83,000円	102,500円

### ③ イオングループ黄色いレシート活動への参加

■内容：イオングループ黄色いレシート活動に参加し、イオンモール福津の買い物客が黄色いレシートで投票した金額の1%相当額の現物寄附を受けました。

年度		平成23年度	平成24年度	平成25年度
寄附の内容	総計額	—	623,590円	1,625,674円
	寄付金額	—	6,200円	16,300円

※寄付金額相当の物品寄付

# 14. ボランティア活動・市民活動の促進

## (1) ボランティアセンター事業の充実

### ① ボランティア登録事業の促進およびV-netの効果的運営

ボランティア登録事業実績		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
ボランティア登録	提供個人	30 件	36 件	35 件
	提供団体	3 件	3 件	4 件
	依頼個人	5 件	1 件	2 件
	依頼団体	9 件	12 件	10 件
	依頼申込個人	17 件	55 件	46 件
	依頼申込団体	28 件	48 件	36 件
ボランティア活動状況	件 数	489 件	467 件	440 件
	活動人数	1,954 人	2,534 人	2,373 人
	調整数	471 件	459 件	379 件
HP アクセス数	アクセス件数	1,009 件	1,419 件	2,213 件
センター利用状況	窓 口	2,340 件	1,968 件	2,102 件
	電 話	1,435 件	1,133 件	1,276 件
	合 計	3,775 件	3,101 件	3,378 件
	対前年比		82.1%	108.9%

### ■ ボランティア活動分野別登録状況

	福祉	保健医療	環境	観光	国際交流	まちづくり	子ども	学習	合計
個人 (人)	429 44.9%	53 5.5%	83 8.7%	76 8.0%	54 5.6%	59 6.2%	138 14.4%	64 6.7%	956
団体 (団体)	66 53.2%	5 4.0%	14 11.3%	4 3.2%	2 1.6%	8 6.5%	11 8.9%	14 11.3%	124

※ボランティア活動分野別登録状況は、V - Net 開設時（平成 14 年 3 月）からの累計。

### ② 宗像市市民活動交流館の企画運営への協力

- 事業説明：NPO、ボランティア団体の活動を支援および協働し、市民活動交流館の運営などについて協議や検討を行いました。
- 事業内容：市民活動交流館企画運営委員会への参加。市民活動交流まつり実行委員として交流まつりの実施。実行委員会参加団体の情報交換、交流館ニュースの企画・編集、第 5 回交流まつりでは企画運営委員会メンバーおよびブース部会の一員としての役割を担いました。

実施事業	実施時期	主な活動内容
企画運営委員会	■ 毎月第 4 火曜日 ■ メイトム宗像	※17：30 開始
市民活動交流まつり実行委員会	■ 10 月～3 月 ■ メイトム宗像	※19：00～ 不定期に 5 回実施
市民活動交流まつりブース部会	■ 10 月～3 月 ■ メイトム宗像	※不定期に 6 回実施



## (2) ボランティア講座の開催

### ① ボランティア入門講座

- 事業説明：ボランティア活動に関心があり、これから始めようとする人を対象に開催。
- 事業内容：ボランティア活動基本学習と体験学習の2部構成で講座を実施。基本学習ではボランティアを始めるにあたっての基礎知識の講義を行い、体験学習では5つのグループに分かれ、「絵手紙」作成体験を通して、ボランティア活動に大切な、互いを思いやる心や観察力、想像力を磨いてもらいました。現在募集中の活動を紹介し、幅広いボランティア活動参加への機会提供を行いました。
- 実施期日：11月12日（水）
- 実施場所：メイトム宗像 101 会議室
- 講師：むなかた市民ネットワーク 絵手紙講師 藤野秀雄氏他

参加者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
		20 人	31 人

### ② ジュニアボランティアスクール

- 事業説明：福祉教育推進計画に基づき、小学生4～6年、中学生1年を対象に、福祉教育拡大・発展型のボランティア体験学習を実施しています。
- 実施期日：8月21・22・23日（合計3日間）
- 実施場所：市民活動交流館「メイトム宗像」、九州国立博物館（大宰府市）
- 事業内容：今回は、「ユニバーサルデザイン」学習と高齢者について理解する学習に取り組みました。ボランティアやユニバーサルデザインの基本学習、認知症に関する学習、高齢者疑似体験などを踏まえ、ユニバーサルデザインの視点で誰もが安心して暮らすことのできる街について考えました。また、歴史分野で人類の進化、文化財について九州国立博物館の協力を得て学び、施設でボランティアとして活動している人々とのふれあい交流学習もありました。修了後、参加者全員「こども福祉員（通称：ピッコラ）」に任命され、未来のまちづくりを担う一員として日常生活の中で、自分自身の役割を見つけ、実行できることを目標に学びました。

実施時期	内 容
<b>■8月21日</b> <b>■メイトム宗像 健診室</b>	<input type="checkbox"/> ボランティアとユニバーサルデザイン学習 <input type="checkbox"/> 高齢者になってみよう（高齢者疑似体験）
<b>■8月22日</b> <b>■メイトム宗像 健診室・結工房</b>	<input type="checkbox"/> 認知症サポーターになろう（認知症サポーター養成講座） ●班ワーク（壁新聞作成、発表） ～認知症ってどんな病気？認知症の人も安心して暮らせるまちにするには～ <input type="checkbox"/> 敬老の日にむけてプレゼント作り ～トールペイントで写真立て作り、メッセージ書き～ （講師：むなかた市民学習ネットワーク講師 松井益美氏）
<b>■8月23日</b> <b>■九州国立博物館</b>	<input type="checkbox"/> フィールドワーク～九州国立博物館の見学とボランティアとの交流学習～ ●博物館、ボランティア活動の概要説明、質問 ●文化交流展示室、バックヤードツアー ●あじっば体験学習 <input type="checkbox"/> みんなに伝えよう！ ●壁新聞作成、発表

参加者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
		37 人	22 人

### ③高校生ボランティアスクール

■事業説明：福祉教育推進計画に基づいた「福祉教育推進事業実施要綱」により、市内にある2高等学校を「推進校」を指定し、福祉教育を推進・強化しています。各高校の生徒、教諭を対象にしたボランティアスクールで、各スクール2日間実施しました。今できるボランティア活動、また将来経験を重ねて取り組む場合に予備知識となるような学習を行いました。

■事業内容：今回は、ノーマライゼーションの理念に基づく「共生」について、県内施設での体験活動、市在宅介護家族の会、市内で活動するボランティア団体との交流学习を通じて理解を深めました。特に、認知症、知的障がい、発達障がいといった「見えない障がい」に関する理解を深めるため、自分たちの問題としてとらえる学習内容に力を入れました。さらに、「食のユニバーサルデザイン」と題し、キューピー(株)の協力を得て、誰もがおいしく食せるメニューを開発し、調理実習を実施しました。

参加者数	項目/年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	東海大学第五高等学校	15人	18人	19人
	宗像高等学校	17人	27人	22人

#### 【東海大学第五高等学校】

実施時期	実施場所	内容
6月1日	<ul style="list-style-type: none"> <li>■東海大学第五高等学校</li> <li>■福岡県地域介護実習普及センター</li> </ul>	<input type="checkbox"/> 認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座） <input type="checkbox"/> 高齢者について学ぼう <ul style="list-style-type: none"> <li>●みんなで支え合う幸せ！福祉の心</li> <li>「住み慣れた町で暮らしたいという思いを大切に」</li> <li>●車いす体験</li> </ul>
6月2日	■東海大学第五高等学校	<input type="checkbox"/> 障がい理解の学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>●自分と仲間について考えてみよう（見えにくい“障がい”について）</li> </ul> <input type="checkbox"/> ボランティアの学習「あなたは幸せですか？」 <input type="checkbox"/> バルーンアートに挑戦！ （講師：ピエロのPさん隊 代表 今西啓之氏他）

#### 【宗像高等学校】

実施時期	実施場所	内容
11月30日	メイトム宗像健診室・202会議室	<input type="checkbox"/> 高齢者理解の学習 <ul style="list-style-type: none"> <li>●高齢者疑似体験</li> <li>●認知症について学ぼう（認知症サポーター養成講座）</li> </ul>
12月14日	宗像高等学校家庭科室	<input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインフードについて （講師：キューピー(株) 杉 昌信氏） <input type="checkbox"/> ユニバーサルデザインフード作りに挑戦！ （協力団体：宗像市在宅介護家族の会「ひまわり」会長 前田スエ子氏他） <ul style="list-style-type: none"> <li>●ふり返り学習</li> </ul>

### ④福祉ボランティア養成講座

■事業説明：ボランティア活動を始めたい、またはすでに活動しているが、他のボランティア活動も興味がある市内在住者などを対象に開催しました。

■事業内容：今年度は、初日にボランティア活動の基本や認知症サポーター養成講座を実施しました。さらに要望の高かった傾聴に関する学習も取り入れ、対人援助ボランティア活動に必要な「受援者が必要としている」心構えを培いました。自分に合った、そして自分にできるボランティア活動を見出し、人々が共にいきいきと暮らすためにボランティア活動が大きな役割を担っていることを学ぶ機会としました。

■実施期日：2月27日、3月4・6日（合計3日間）

実施時期	実施場所	内容
2月27日	メイトム宗像 202 会議室	<input type="checkbox"/> ボランティア活動の現状について <input type="checkbox"/> 合意形成について <input type="checkbox"/> 認知症サポーター養成講座 <input type="checkbox"/> 聴き上手になる～傾聴のこころがまえ～ (講師：NPO 法人 日本ソーシャルコーチ協会 代表理事 富岡郁雄氏)
3月4日	■メイトム宗像 多目的ホール ■宗像市街地	<input type="checkbox"/> 対人援助支援ボランティア体験学習Ⅰ ●視覚障がいのある人に対する外出支援 (エスコート初級編) (講師：ガイドボランティア「アイフレンド」 代表 力丸民子氏他) ●街を歩いてみよう (外出支援応用編：公共交通機関の利用、買い物体験) <input type="checkbox"/> 視覚障がいのある人との交流学习 (協力者：大塚芳英氏、河原ひろみ氏、花田貴恵氏)
3月6日	福岡県介護実習 普及センター	<input type="checkbox"/> 対人援助支援ボランティア体験学習Ⅱ ●みんなで支え合う幸せ！～受援者の気持ち、支援のポイント～ ●高齢者疑似体験 ●車いす体験 ●ユニバーサルデザインって何だろう？

■参加者数：

参加者数	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度
	42 人	1 日コース	10 人	3 日コース	19 人

### (3) ボランティア活動との連携・支援強化

#### ①福祉ボランティア活動連絡協議会の育成・補助

■事業説明：福祉ボランティア活動連絡協議会の役員会・運営委員会への参加・助言。自主研修会、総会などへの助言・指導。各ボランティアグループへの個別指導・助言。福祉教育現場での参加支援。行政や各施設で行われるイベントへの参加支援。

■活動支援の内容

実施事業	実施時期	主な活動内容
役員会	毎月 1 回開催	※毎月最終週のいずれか平日：午後 7 時 30 分～
運営委員会	毎月 1 回開催	※毎月第 1 水曜：午後 7 時 30 分～
定期総会	4 月 20 日	場 所：メイトム宗像
全体研修	11 月 27 日	場 所：八女市社会福祉協議会黒木支所など テーマ：北部九州災害に学ぶ 講 師：八女市社会福祉協議会職員

■宗像市福祉ボランティア活動連絡協議会へ活動費補助金の交付ならびに活動支援。

補助金交付額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	553,000 円	553,000 円	435,000 円

#### ②ふくおか「きずな」フェスティバルへの参加・協力

■事業説明：県内で開催されるボランティア等のフェスティバル。現在は、「ふくおかボランティアのつどい」と「ふくおか子どもすくすくフェスタ」を統合して開催されています。

■事業内容：ふくおか「きずな」フェスティバルに参加。

講 演：東日本大震災での支援活動について ～チームやっぺ南相馬の活動を通して～

講 師：チームやっぺ南相馬役員 山内直人氏

ボランティアシンポジウム

- 実施期日：2月16日
- 実施場所：クローバープラザ（春日市）
- 参加者数：福祉ボランティア活動連絡協議会員 22人

### ③ボランティア活動振興基金積立事業

- 事業説明：福祉ボランティア活動振興基金の基金果実を福祉ボランティア活動連絡協議会に助成しました。

実績額	項目／年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	基金果実	10,567 円	24,103 円	2,810 円
	助成金額	10,000 円	10,000 円	10,000 円

### ④ボランティア保険加入補助

- 事業説明：V-Net に登録している個人及び団体ボランティアや福祉会のボランティアなどがボランティア活動保険に加入した際に、その保険料一人 150 円を補助しています。なお本会は 50 円、100 円は県社協が補助しています。

合計補助金額	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	186,000 円	196,000 円	182,000 円

## 15. 赤い羽根共同募金運動への協力

### （1）共同募金への協力

#### ■組織体制

福岡県共同募金会の支部組織「福岡県共同募金会宗像市支会」として、理事会を開催、当該年度の募金目標額や募金活動について審議、決定しています。理事は、地区自治会長会代表 13 人、民生委員・児童委員協議会会長 1 人、商工会より 1 人、老人クラブ連合会会長 1 人、市執行部（健康福祉部長）1 人、識見を有する者 1 人（社会福祉協議会会長）により構成されています。

#### ■福岡県共同募金会宗像市支会

「福岡県共同募金会宗像市支会」（事務局：社会福祉協議会）として募金活動を行っています。

#### ■募金方法と募金実績額

毎年 10 月 1 日～12 月 31 日までの間で募金活動を行っています。募金方法と募金実績額は下記の表をご参照ください。

年度実績		平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
項目	■戸別募金	11,772,423 円	11,626,368 円	11,306,911 円
	■街頭募金	174,323 円	150,362 円	163,902 円
	■学校募金	122,553 円	196,503 円	185,149 円
	■職域募金及び資材を活用した募金	702,429 円	676,279 円	688,525 円
	■イベント募金	150,200 円	98,036 円	130,360 円
	■個人募金、その他	5,957 円	28,549 円	151,968 円
	実績額合計	12,927,885 円	12,776,097 円	12,626,815 円
対前年比		98.8%	98.8%	

## ■配分実績

平成 25 年度募金実績額に対する福岡県共同募金会から宗像市への配分先と配分金額は次のとおりです。

項目	配分先	配分金額
■地域配分 (A 枠)	給食サービス事業運営費:ボランティア団体による配食	200,000 円
	共同作業所運営費:NPO 法人宗像コスモス会	400,000 円
■地域配分 (B 枠) 福岡県共同募金会から宗像市社会福祉協議会に、申請に基づいて配分されます。本会の理事会・評議員会で承認された地域福祉活動を行う事業費です。	高齢者福祉に	460,000 円
	児童・青少年福祉に	1,544,860 円
	障がい児・者福祉に	1,701,000 円
	母子・寡婦福祉に	295,000 円
	ボランティア活動に	627,000 円
	福祉社会活動の支援に	2,945,000 円
	情報提供・啓発活動に	502,740 円

## (2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分

※ 8 低所得者福祉事業の推進 (2) 歳末たすけあい募金の実施ならびに募金の配分を参照。

# 16. 障害者生活支援センター運営事業

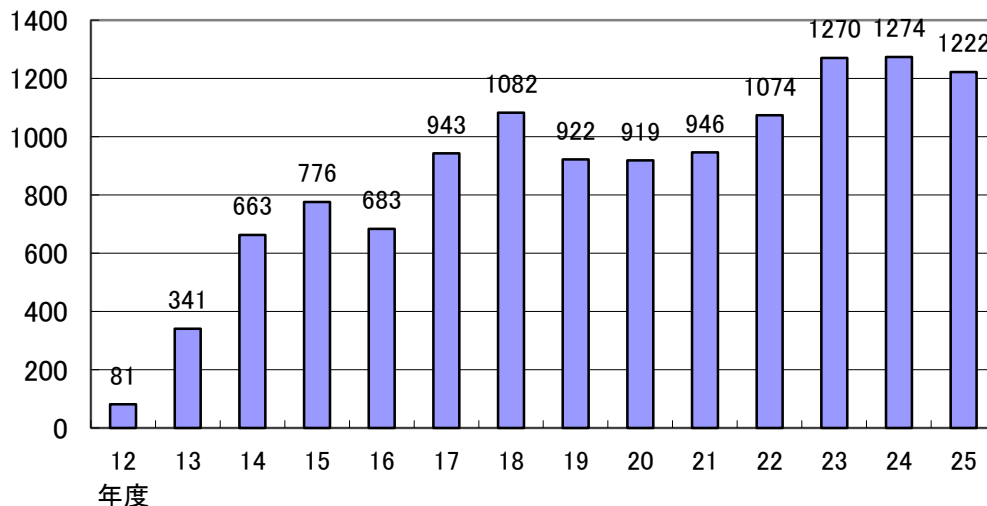
## ■宗像市委託事業

### (1) 障害者生活支援センター事業

■事業説明：障害者生活支援事業は、宗像市に居住する障がい者に対し、保健福祉サービスの利用促進、および各種情報の提供、相談・助言等を総合的に行うことにより、障がい者及びその家族の地域における生活を支援し、障がい者の自立と社会参加の促進を図ることを目的とする。

- 事業内容：
- 福祉サービスの利用援助
  - 社会資源を活用するための支援
  - 社会生活力を高めるための支援
  - 当事者相談(ピアカウンセリング)
  - 専門機関の紹介・連携
  - サービス利用計画の作成及び評価
  - 権利擁護のための必要な援助

■センター利用状況・相談件数：1222 人



- 職員体制：○センター長1名  
○相談員 3名  
○ピアカウンセラー 3名
- 開所日時：①月・火・水・木・金曜日 (8時30分～17時)  
※土・日曜日・国民の祝日・年末年始は定休日  
②ピアカウンセリング (10時～15時)
- 相談実績① (区分別)

項目/月	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①ホームヘルプサービス	495 件	748 件	553 件
②ガイドヘルプサービス	207 件	219 件	102 件
③地域活動支援センター・デイサービス	84 件	85 件	97 件
④ショートステイ	112 件	116 件	149 件
⑤ケアホーム・グループホーム等	175 件	131 件	147 件
⑥入所施設利用の援助	129 件	157 件	143 件
⑦通所施設利用の援助	601 件	582 件	453 件
⑧福祉機器の利用援助	233 件	303 件	133 件
⑨食事・調理に関すること	27 件	33 件	26 件
⑩サービス利用計画作成および介護相談	88 件	204 件	959 件
⑪権利擁護・生活安定面の支援	448 件	556 件	333 件
⑫申請代行その他保健・福祉・医療に関する支援	688 件	829 件	571 件
⑬情報機器等の利用援助	28 件	34 件	5 件
⑭コミュニケーションの支援	264 件	203 件	84 件
⑮移動・外出の支援	320 件	216 件	209 件
⑯住宅の紹介、改修の支援	107 件	128 件	78 件
⑰生活情報の提供	85 件	83 件	101 件
⑱障害者団体の紹介	24 件	9 件	17 件
⑲ボランティア NPO 等の紹介	46 件	51 件	33 件
⑳就労・就学に関する支援	505 件	524 件	495 件
㉑福祉資源形成の支援	65 件	51 件	39 件
㉒金銭管理の支援	108 件	107 件	129 件
㉓健康管理の支援	449 件	508 件	460 件
㉔講座・教室、余暇・趣味の紹介	165 件	117 件	91 件
㉕ピアサポートに関すること	132 件	97 件	102 件
㉖専門機関の紹介	315 件	314 件	216 件
㉗その他の必要な生活支援	1,345 件	1,496 件	1,233 件
計	7,245 件	7,901 件	6,958 件

■相談実績② (相談方法別)

項目/月	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①来 所	1,985 件	2,114 件	846 件
②電 話	3,358 件	3,826 件	1,123 件
③文書 (メール等)	187 件	245 件	118 件
④訪 問	1,715 件	1,716 件	1,083 件
⑤同 行	—	—	57 件
⑥個別支援会議	—	—	972 件
⑦関係機関	—	—	2,759 件
計	7,245 件	7,901 件	6,958 件

■障がい種別①（障がい者）

項目／月	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①肢体不自由	1,240 件	1,501 件	1,145 件
②聴覚障害	264 件	252 件	161 件
③言語障害	6 件	3 件	4 件
④視覚障害	771 件	598 件	299 件
⑤内部障害	8 件	28 件	19 件
⑥発達障害	131 件	79 件	215 件
⑦高次脳機能障害	231 件	158 件	195 件
⑧知的障害	1,875 件	1,796 件	1,569 件
⑨精神障害	1,207 件	1,731 件	1,955 件
⑩重複障害	1,338 件	1,517 件	810 件
⑪不 明	126 件	177 件	111 件
⑫な し	48 件	61 件	56 件
計	※障害児含む 7,245 件	※障害児含む 7,901 件	6,539 件

■障がい種別②（障がい児）

項目／月	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①肢体不自由	—	—	130 件
②聴覚障害	—	—	0 件
③言語障害	—	—	0 件
④視覚障害	—	—	0 件
⑤内部障害	—	—	0 件
⑥発達障害	—	—	26 件
⑦高次脳機能障害	—	—	38 件
⑧知的障害	—	—	62 件
⑨精神障害	—	—	0 件
⑩重複障害	—	—	153 件
⑪不 明	—	—	3 件
⑫な し	—	—	7 件
計	—	—	419 件

(2) 障害者生活支援センター主催事業

①ピアサポート事業

- 事業説明：ピアサポーターと利用者が事業を通じた交流により情報を共有し、当事者間のネットワークを構築することを目的としてピアサポート事業を実施。
- 開催場所：グローバルアリーナ、地域活動支援センター、「ひだまり」など
- 実施回数：年 3 回
- 参加費：無料（実費負担あり）
- 実施内容：軽スポーツ、バーベキュー、カラオケ
- のべ参加者数：101 人

②ピアサポーターだより発行事業

- 事業説明：ピアサポーターの活動および障害者福祉制度やサービス、ボランティア等の情報を当事者や市民、関係機関等に周知し、情報を共有することを目的に広報紙を発行。
- 発行回数：年 3 回
- 発行部数：550 部
- 配布先：各福祉施設、福祉会、当事者団体、関係機関等
- 実施内容：事業紹介、生活情報、ボランティア紹介、ワンポイント手話など

### ③パソコン勉強会

- 事業説明：当センターのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象にパソコンの勉強会を実施。
- 開催日時：第2・4火曜日（13:00～15:00）
- 開催場所：宗像市役所内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：22人

### ④手話勉強会

- 事業説明：当センターの聴覚障がいのピアサポーターが講師となり、在宅障がい者などを対象に手話の勉強会を実施。
- 開催日時：第4木曜日（13:30～15:00）
- 開催場所：メイトム宗像内
- 参加費：無料
- のべ参加者数：36人

## (3) 障害者生活支援センターのその他の関連事業

### ■会議や研修への参加・協力

実施時期	参加・協力事業名
月1回開催	ピアサポーター会議
月1回開催	障害者自立支援協議会 事務局会議
5月28日・10月29日	障害者自立支援協議会 本会議
6月27日・10月21日・2月5日	障害者自立支援協議会 相談支援ネットワーク会議
7月19日・9月18日・10月3日・12月2日	障害者自立支援協議会 生活部会
5月10日・7月19日・2月25日	障害者自立支援協議会 就労部会
11月15日	障害者自立支援協議会 就労部会研修会
5月24日・9月27日・1月24日	宗像管内障害児関係機関連絡会
5月24日・11月1日・12月20日・3月12日	県障害者福祉情報センター運営会議専門部会
9月12日～13日・10月18日・11月19日～20日	相談支援従事者初任者研修
9月25日	障害者虐待防止セミナー市民講演会
10月10日	県自立支援協議会事務局担当者会議
11月26日	障害者自立支援協議会視察研修（北九州市、ひなた家）
12月12日	地域精神保健講演会
1月21日	福津市・宗像市障害者支援連絡会議就労部会企業見学（糟屋郡 Bizex 株式会社）
2月12日～13日	県障害者虐待防止・権利擁護研修
3月7日	宗像地域精神障害者地域支援関係機関会議

## (4) 宗像市障害者等意思疎通支援事業

### ■派遣申請者数（人数）

派遣申請者数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	50人	57人	43人



■派遣内容（件数）

項目／月	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①手続・相談	12 件	8 件	12 件
②医 療	81 件	71 件	49 件
③職 業	0 件	0 件	0 件
④教 育	5 件	3 件	5 件
⑤会議・講演	3 件	10 件	0 件
⑥その他	0 件	1 件	1 件
計	101 件	93 件	67 件

■派遣区分（件数）

項目／月	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①手話通訳等	95 件	77 件	51 件
②要約筆記等	6 件	16 件	16 件
計	101 件	93 件	67 件

（5）宗像市障害者虐待防止センター事業

①宗像市障害者虐待防止センター事業実績報告

■事業説明：「障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」により平成 24 年度から宗像市の委託事業として受託。障害者虐待の早期発見と発生防止、ならびに障害者虐待が起きないように個々のケース対応を充実するとともに、市民や障害者福祉サービス事業者への周知が主な役割。

■対応件数

項目／月	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
①通報受理	—	0 件	2 件
②事実確認実施	—	0 件	1 件
③虐待と判断	—	0 件	1 件
④相談・指導・助言	—	20 件	11 件
合 計	件 数	—	20 件
	人 数	—	11 人

②宗像市障害者虐待防止セミナー市民講演会の実施

■事業説明：障害者への顕著な人権侵害である障害者虐待に関する研修会を実施。

■事業内容：「あたりまえに…ありのままに…」をテーマに実施。「障害者虐待」を問う前に、虐待が起こる根本的な環境や原因について考え、単に虐待を「悪」と決めつけるのではなく、虐待を「行う側」「受ける側」の立場をよく理解すること。また、虐待を「行う側」を懲らしめるだけではなく、虐待が起きない（虐待しなくてよい）環境整備や適切な支援・相談体制の整備を図ることの必要性について学習した。

■講 師：遠城信義 氏（緑ヶ丘学園施設長）

※過去に障害者虐待が行われていた障害者施設の施設長に就任し、施設の改善に尽力した経験がある。

■参加者：宗像市役所職員、宗像市社会福祉協議会職員、障害者支援サービス事業所職員、民生委員児童委員、ボランティア等と一般公募による市民

■実施期日：9月25日（水）

■実施場所：メイトム宗像 多目的ホール

■参加者数：102人

# 17. 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■宗像市指定管理運営事業

## (1) 大島福祉センター「ふれ愛センター」運営事業

■事業説明：大島福祉センター「ふれ愛センター」の指定管理を受け社会福祉協議会が運営しています。

■運営体制：●館長（兼任）1名 ●事務員1名

■大島福祉センター「ふれ愛センター」年間利用者集計表

	高齢者	一般	中学生以下	島外	計	対前年比較
平成25年度	1,732人	735人	33人	200人	2,700人	287人
平成24年度	1,510人	649人	56人	198人	2,413人	80人
平成23年度	1,333人	738人	65人	197人	2,333人	

■利用施設別のべ利用者数

	1階和室	2階会議室	いこいの部屋	調理実習室	計	対前年比較
平成25年度	2,556人	86人	39人	1,680人	4,361人	562人
平成24年度	2,293人	26人	62人	1,418人	3,799人	140人
平成23年度	2,245人	66人	2人	1,346人	3,659人	

■施設利用料金実績ならびに施設稼働日数

	稼働日数 (日)	1階和室 (円)	2階会議室 (円)	調理実習室 (円)	計	対前年比較
平成25年度	255日	28,850円	3,350円	9,700円	41,900円	2,700円
平成24年度	249日	28,250円	1,050円	9,900円	39,200円	-5,300円
平成23年度	252日	26,750円	4,800円	12,950円	44,500円	

## (2) 大島福祉センター「ふれ愛センター」健康・福祉ミニまつりの開催

■実施日：7月20日（土）

■内容：身体測定コーナー、骨密度測定、テーピング指導、ハンドマッサージ、お茶の間筋トレ、アルコール体質チェック、移動保健所（保健所職員による15分講座）

■参加者：71名

# 18. 居宅介護支援事業

■介護保険等事業

## (1) 要介護認定調査業務（市受託事業）

■事業説明：市から委託を受けて要介護認定調査を行う。

要介護認定調査件数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	2,887件	2,856件	2,735件
	対前年比較	-31件	-121件

## (2) 居宅介護支援事業

■事業説明：介護保険利用者の立場に立ち、居宅介護支援サービスの作成、管理、更新等を行い個々の利用者に最適な介護サービスの提供を行う。

要介護度別のべ利用者数 (単位：人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年 比較
平成 25 年度	183	435	875	568	186	147	96	2,490	-12
平成 24 年度	205	380	794	624	231	147	121	2,502	162
平成 23 年度	206	277	739	632	244	122	120	2,340	

【介護給付】 のべ利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	1,859 人	1,917 人	1,872 人
	対前年比較	58 人	-45 人

【予防給付】 のべ利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	481 人	585 人	618 人
	対前年比較	104 人	33 人

新規利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	70 人	70 人	76 人
	対前年比較	0 人	6 人

## 19. 訪問介護事業

■介護保険等事業

### (1) 訪問介護事業

■事業説明：介護保険利用者の訪問介護計画に基づき、自立支援を目標とした介護サービスの提供を行う。

のべ利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	1,717 人	1,782 人	1,756 人
	対前年比較	65 人	-26 人

新規利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	24 人	39 人	31 人
	対前年比較	15 人	-8 人

要介護度別のべ利用者数 (単位：人)	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計	対前年 比較
平成 25 年度	461	617	363	221	52	33	9	1,756	-26
平成 24 年度	409	603	389	228	66	66	21	1,782	65
平成 23 年度	394	493	436	199	96	64	35	1,717	

■介護サービス種別サービス提供時間数

項目/月	生活援助	身体介護	身体生活	介護予防	計	対前年比較
平成 25 年度	5,152.0h	967.0h	526.5h	4,980.5h	11,626.0h	-977.5h
平成 24 年度	4,957.0h	1,237.0h	1,275.5h	5,134.0h	12,603.5h	-1,656.5h
平成 23 年度	5,879.5h	1,521.0h	1,661.5h	5,198.0h	14,260.0h	

## 20. スマイルハート事業

■介護保険等事業

(1) スマイルハート事業

■事業説明：介護保険適応外の家事援助サービス及び身体介護サービスを提供し、在宅での自立支援を行う。

のべ利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	430 人	405 人	376 人
	対前年比較	-25 人	-29 人

サービス提供時間	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	2,861.5 h	2,610.0 h	2,409.5h
	対前年比較	-251.5 h	-200.5h

## 21. 障害者自立支援費によるホームヘルプサービス事業

■介護保険等事業

(1) 障害者自立支援費によるホームヘルプサービス事業

■事業説明：障がい者の介護、家事の支援や外出支援を行う。

利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	240 人	298 人	307 人
	対前年比較	58 人	9 人

サービス提供時間	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	2,137.5 h	2,346.5 h	2,597.5 h
	対前年比較	209.0 h	251.0 h

## 22. 生活管理指導によるホームヘルプサービス事業

■市委託事業

### (1) 生活管理指導によるホームヘルプサービス事業（市受託事業）

■事業説明：市が必要と認めた高齢者世帯と単身高齢者に対し、日常生活上の支援・指導を行う。

利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	246 人	160 人	100 人
	対前年比較	-86 人	-60 人

サービス提供時間	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	948.5 h	450.0 h	281.0 h
	対前年比較	-498.5 h	-169.0 h

## 23. いきがい活動通所事業大島ミニデイサービス事業

■宗像市委託事業

### (1) いきがい活動通所事業（大島ミニデイサービス）によるホームヘルプサービス事業（市受託事業）

■事業説明：虚弱高齢者、単身高齢者などに、生きがいづくりや心身機能の維持向上を図るために、食事や入浴、レクリエーションなどの活動を行う。

利用者数	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
	176 人	183 人	231 人
	対前年比較	7 人	48 人

## 24. 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■宗像市委託事業

### (1) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業

■事業説明：さまざまな障がいのある子ども達とその保護者を、通園の方法により療育を行い、支援していくことを目的として設置された施設。実施主体は宗像市で社会福祉協議会が受託・運営している。

- 事業内容：
- 保育活動を中心とした総合的な療育と支援を行う。
  - 作業療法士による機能訓練、感覚統合訓練や言語聴覚士によるコミュニケーション支援とともに、子どもに関する悩みをそれぞれの専門の先生方が聞き、相談に応じる。
  - 水泳の指導を専門の指導員が週一回行う。（金曜日）
  - 嘱託医による定期的な健診やカンファレンスにより子どもの発達を個別的にみる。

■運営体制

①園長（兼任）：1 人	②児童発達支援管理責任者：1 人	③専任指導員：3 人	④作業療法士：1 人
⑤言語聴覚士：1 人	⑥プール指導員：1 人	⑦臨時指導員：2 人	⑧託児スタッフ：7 人
⑨嘱託医：1 人			

## (2) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」運営事業実績

### ①年齢別男女別障害別園児状況

年齢	男子	女子	障害区分								累計
			発達障害			知的障害	視覚障害	身体障害	重複障害	その他	
			PDD		未診断						
			知的有	知的無							
1歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
2歳	6	3	0	0	5	4	0	0	0	0	9
3歳	2	21	2	1	12	3	0	1	1	3	23
4歳	14	4	1	2	12	2	0	0	0	1	18
5歳	34	7	3	17	17	2	0	0	1	1	41
6歳	22	18	3	15	16	5	0	0	0	1	40
計	79	53	9	35	62	16	0	1	3	6	132

※単位：人

### ②年度・年齢別園児数

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
1歳	0人	0人	1人
2歳	0人	7人	9人
3歳	20人	9人	23人
4歳	22人	24人	18人
5歳	27人	35人	41人
6歳	33人	42人	40人
計	102人	117人	132人

### ③園児数の推移

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
入園者数	46人	51人	62人
退園者数	6人	3人	47人

### ④療育日と人数の実績

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
療育日数	245日	241日	244日
実績延人数	2,760人	2,855人	3,063人
一日平均利用人数	11.2人	11.8人	12.5人

### ⑤兄弟児託児状況

- 事業説明：母子通園は、保護者が子どもとしっかりと向き合い共に療育することを目的としている。よって利用者に兄弟児がいる場合は、兄弟児の託児保育を行っている。また勉強会・保護者会などに保護者が安心して参加・集中できるように兄弟児の託児を行っている。託児の利用料は一回につき500円。

- 運営体制：登録7名

延べ利用人数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	331人	262人	368人

### ⑥送迎利用状況

延べ利用回数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	502回	614回	578回

### (3) 発達支援センター療育施設「のぞみ園」訓練等の状況

#### ①言語聴覚士の関わり

■週3回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
個別検査・訓練	262人	277人	288人
集団ことば遊び	58回	23回	13回

#### ②作業療法士の関わり

■週1回程度。その他、個人懇談・関係機関との連携等

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
個別検査・訓練	98人	136人	153人
集団ことば遊び	35回	10回	4回

#### ③個別保育

延べ利用人数	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	923人	558人	550人

#### ④嘱託医の健診・ケースカンファレンス

実施時期	参加者数	主な活動内容
5月18日	3人	内容：ケースカンファレンス
6月12日	4人	内容：嘱託医健診
9月7日	3人	内容：ケースカンファレンス
11月13日	3人	内容：ケースカンファレンス
1月18日	3人	内容：嘱託医健診

### (4) ぱんだルームの状況

■事業説明：宗像市乳幼児健診後のフォロー事業として、専門的な支援が必要な幼児を対象に、遊びを通して子どもの発達と子育てを支援。月に1・2回程度開催。

項目	平成23年度	平成24年度	平成25年度
実施回数	19回	17回	18回
延べ利用人数	205人	134人	135人
兄弟児数	—	—	63人

### (5) その他の取り組み

#### ①児童福祉法に基づく宗像市発達支援センター療育施設のぞみ園の経営方針の検証

■実施内容：

●9月に利用者数の状況やクラス編成や職員配置についての見直し等の中間報告・評価についてセンターへ報告。

●9月の報告書を基に、11月に業務改善についての報告書を作成し、本会内で検討を行った。

●11月30日・31日に「全国児童発達支援協議会」九州ブロックの研修会に参加し、地域の発達支援の取組状況について学び、他施設職員との情報交換を行った。

#### ②保育所、幼稚園、小学校への訪問支援の取組

■事業説明：園児が、各保育所及び幼稚園、小学校への入園・入学が円滑に行えることや、安定した園生活が過ごせる為のサポートとして実施。

■実施内容：6月、10月、2月の面談での聞き取りの中から、保護者から出た相談内容をもとに園や学校と情報交換等を行った。また、春休みや夏休み等を利用し、情報交換を行った。その他に、保護者や園からの要望に応じて随時情報交換を行った。

### ③職員の資質向上に向けた症例検討会や園内研修会の実施

#### ■実施内容

実施日	主な活動内容
5月10日	「個別支援計画の書式と計画書作成」に関する研修会
5月24日	「療育記録のつけ方」に関する検討会
9月20日	「9つの重要なコミュニケーションスキルを教える」研修の報告会
8月23日 9月26日 10月4日 10月18日	「発達検査」についての勉強会

### ④保護者向け勉強会の実施

#### ■実施内容

実施日	主な活動内容
6月27日	テーマ：「ことばの発達と、ことばを育む関わり」 講師：言語聴覚士 松延孝代 参加人数：31名
11月26日	テーマ：「子どもの発達と感覚統合（基礎編）」 講師：児童発達支援管理責任者 新塘元哉 参加人数：24名
1月28日	テーマ：「サポートブック」について（就学、就園の保護者対象） ※就学と就園の保護者を分けて実施。 企画・進行役：大和洋子、新塘元哉指導員 参加人数：28名
2月25日	テーマ：「子ども達の困った行動について考えよう」 企画・進行役大和文乃指導員 参加人数：10名



平成 25 年度  
事業報告書資料集



平成 24 年度福祉絵画コンクール中学生の部金賞受賞作品

テーマ：「祖母の耳」

作者：日の里中学校 下田 倫太郎

# ■ 社会福祉協議会ならびに本会の概況

## 1. 社会福祉協議会の位置付け

### (1) 社会福祉協議会の位置づけ

社会福祉協議会は、社会福祉法第 109 条に「地域福祉の推進を目的とする民間の中心  
的な団体」として規定されている。また、社会福祉協議会の組織構成や事業等も社会福  
祉法に定められており、その活動は「民間性」と極めて高い「公共性」が特徴である。

### (2) 宗像市社会福祉協議会の位置づけ

本会は、前記の法的位置づけ、ならびにその特徴と事業実績により、宗像市の  
総合計画や各種福祉計画には、福祉行政の一翼を担い、民間の福祉活動を推進す  
る中心的な団体として位置づけられてきた歴史がある。

2010 年（平成 22 年）に宗像市が策定した「第 2 次宗像市保健福祉計画」には、  
「地域福祉推進の中心的組織であり、『福祉の里』づくりを推進している宗像市社  
会福祉協議会の活動を支援するとともに、重要なパートナーとして一層の連携を  
図ります」と記されている。

### (3) 宗像市社会福祉協議会の活動方針

本会の活動方針は、平成 22 年 7 月に第二次計画の見直しと次代に適応する社会福祉協  
議会活動の基本理念や実施計画等を取りまとめた**第三次地域福祉活動計画**（計画年度：  
平成 22～26 年度。以下「第三次計画」という。）による。この計画には、本会の基本的  
な活動方針として以下の項目を掲げている。

- ①住民主体・住民参画による社会福祉協議会活動の推進
- ②住民自治活動としての地域福祉の推進
- ③生涯学習としての福祉教育の推進
- ④行政および地域福祉推進団体などの協働者としての社会福祉協議会の確立
- ⑤利用者本位の福祉サービス供給体制の強化
- ⑥法人経営体制の強化

また、第三次計画の第一章第二節第一項の「めざすべき地域社会像」では、長期的な  
視野に立ち行政や地域の実情を考慮し、市民の参画と市民との協働による「福祉の里」  
づくりの推進を第二次計画から継承することとした。「福祉の里」とは、以下のような  
地域を想定している。

- ①地域住民がお互いにお隣りさんの顔が見える人と人とのふれあいのある地域
- ②自分の住んでいる地域の福祉問題を、その人だけの問題にしないで、みんなの問題  
として解決を考え、隣人としてできる助け合いが日常的に行われている地域
- ③援助を必要とする人すべてが、いつも誰かが温かい眼差しで見守っていてくれてい  
る安心を感じられる地域
- ④幼児から高齢者までそれぞれの世代にできる福祉活動が行われる地域、ハンディキ  
ャップがある人もない人も、共に生きがいを共有できる地域
- ⑤共に学び合い、実践し、公私の福祉・介護・保健サービスを豊かにし、生活に活か  
す地域

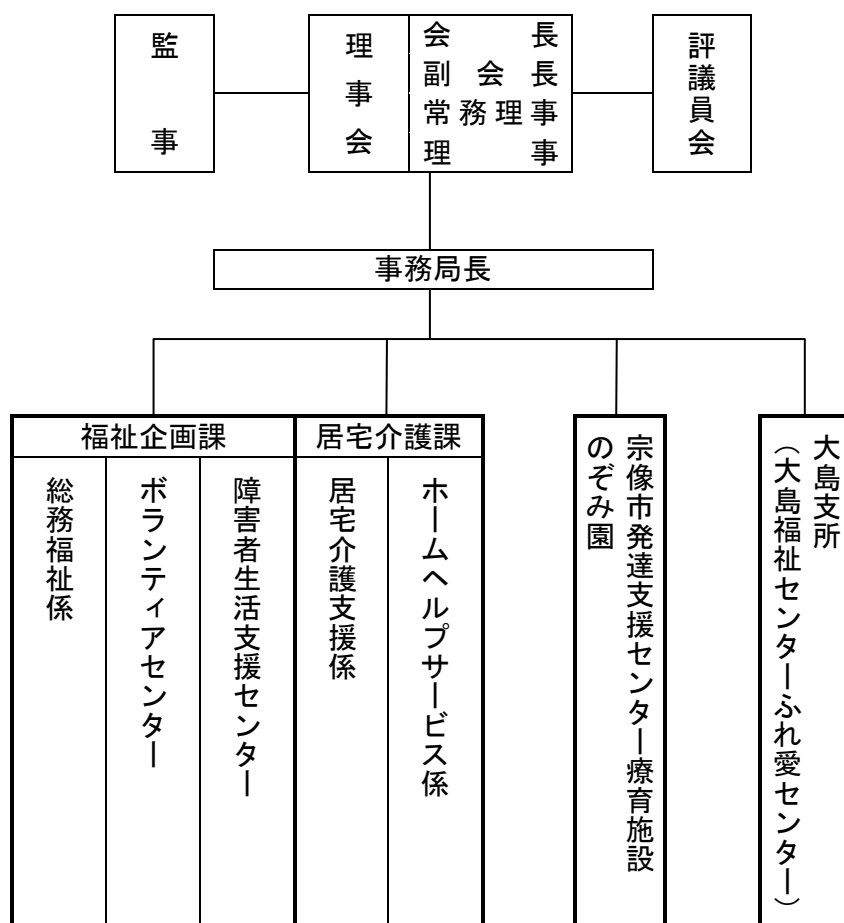
## 2. 宗像市社会福祉協議会の経過

年 度	主な内容
昭和 34 年	・任意団体として宗像町社会福祉協議会が発足
昭和 45 年	・社会福祉法人として認可

～昭和 57 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東部児童館事業受託</li> <li>・ 老人家庭奉仕員派遣事業受託</li> <li>・ 心身障害児家庭奉仕員派遣事業受託</li> <li>・ 身体障害者家庭奉仕員派遣事業受託</li> <li>・ 老人福祉センター「宗寿園」事業受託</li> <li>・ 戦没者慰霊祭の受託</li> <li>・ 在宅心身障害児母子学級「のぞみ園」の運営開始</li> <li>・ 福祉団体への助成事業開始</li> <li>・ 心配ごと相談事業開始</li> <li>・ ボランティア育成事業開始</li> </ul>
昭和 60 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉ボランティア活動連絡協議会設立</li> <li>・ 宗像市社会福祉協議会基盤強化計画書策定</li> </ul>
昭和 61 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 福祉教育推進指定校事業開始</li> </ul>
昭和 62 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小地域福祉会組織化事業開始（地区福祉懇談会開始）</li> <li>・ 障害児通園事業「のぞみ園」受託</li> </ul>
昭和 63 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宗像ユリックス内に社会福祉センター完成・本会移転</li> <li>・ 愛のネットワーク活動開始（推進委員会・支部設置）</li> <li>・ 福祉の里づくり事業開始</li> <li>・ 自由ヶ丘地区社会福祉会発足</li> <li>・ 電話訪問相談事業開始（～平成 10 年度）</li> </ul>
平成元年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ やさしさ宅配人（愛のネットワーク活動協力員）登録事業開始</li> </ul>
平成 8 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ホームヘルプ協力員制度開始</li> <li>・ 第一次地域福祉活動計画書策定</li> </ul>
平成 9 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在宅介護者組織化事業開始</li> </ul>
平成 10 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合保健福祉センター「メイトム宗像」完成・本会移転</li> <li>・ 小地域福祉会全地区組織化完了</li> </ul>
平成 12 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護保険制度の実施にともない居宅介護支援事業・訪問介護事業開始</li> <li>・ 要介護認定調査業務・軽度生活援助事業受託</li> <li>・ 障害者生活支援事業受託</li> <li>・ 機能訓練 B 型（いきいきふれあいサロン）事業開始</li> </ul>
平成 13 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ボランティアセンター事業受託</li> <li>・ 在宅介護者の会ひまわり発足、在宅介護者組織化事業から支援事業へ</li> </ul>
平成 14 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宗像市・玄海町社会福祉協議会合併合同委員会設置</li> <li>・ （新）宗像市社会福祉協議会誕生（平成 15 年 3 月 31 日）</li> </ul>
平成 15 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 玄海 4 地区に小地域福祉会の組織化を開始</li> <li>・ 玄海 4 地区全てに小地域福祉会組織化完了</li> </ul>
平成 16 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宗像市・大島村社会福祉協議会合併合同委員会設置</li> <li>・ （新）宗像市社会福祉協議会誕生（平成 17 年 3 月 31 日）</li> <li>・ 第二次地域福祉活動計画書策定</li> </ul>
平成 17 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉協議会福祉教育推進計画書策定</li> </ul>
平成 18 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機能訓練 B 型（いきいきふれあいサロン）事業を介護予防いきいき交流会事業へ移行</li> <li>・ 障害者自立支援法による指定相談支援事業、障害福祉サービス事業、地域生活支援事業を開始</li> </ul>
平成 20 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「メイトム宗像」が市民活動交流館としてリニューアル</li> <li>・ 「宗像市ボランティアセンター」が市民活動ボランティア NPO センターの一部となる</li> <li>・ 「のぞみ園」が発達支援センター療育施設の一部となる</li> <li>・ 障害者等コミュニケーション支援事業受託</li> </ul>

平成 21 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉の推進に関する市民の意識調査を実施</li> <li>・地区コミュニティ運営協議会健康福祉部会活動状況等聞き取り調査を実施</li> <li>・福祉団体活動状況等聞き取り調査を実施</li> <li>・非常・災害時職員行動計画書（平成 21 年度版）作成</li> <li>・第三次地域福祉活動計画策定委員会設置</li> </ul>
平成 22 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第三次地域福祉活動計画書策定</li> <li>・第二次経営改善計画策定</li> <li>・市窓口ワンストップサービス化にともない障害者生活支援センターが宗像市役所内に移転</li> </ul>
平成 23 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次福祉教育推進計画策定</li> <li>・東日本大震災救援・復興ボランティアとして職員を派遣</li> </ul>
平成 24 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市保健福祉会館（ゆうゆうぷらざ）の閉館に伴い本会玄海支所を廃止</li> <li>・障害者基幹型相談支援センター事業を受託</li> <li>・宗像市障害者虐待防止センター事業を受託</li> <li>・宗像市社協自動販売機設置開始</li> </ul>
平成 25 年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ライフサポート事業開始</li> <li>・認知症サポーター養成講座事業を受託</li> <li>・本会ホームページにてバナー広告収益事業開始</li> </ul>

### 3. 宗像市社会福祉協議会機構図



## ■用語の説明

### 【あ】いきいきふれあいサロン

当初福祉会が行っていた「ふれあい会食会」や「楽しく食べて語ろう会」などの【ふれあい活動】に、介護予防いきいき交流会事業（市委託事業）による在宅虚弱高齢者への介護予防活動や簡単な健康チェックや機能訓練などを行う【いきいき活動】が取り入れられた事業。

### 【か】居宅介護支援事業

居宅介護支援事業所が居宅の要介護者または要支援者の依頼を受け、介護・福祉・保健・医療サービスが効果的・効率的に受けられるよう介護支援専門員が居宅サービス計画を作成し、各機関と連絡調整を行い総合的にサービスが提供されるよう調整する事業。

#### 居宅訪問介護事業

介護保険制度における事業の一種。介護支援専門員が、対象となる要介護者の心身の状態や置かれている状況を適切に把握し、その方の同意のもとに介護サービス計画（ケアプラン）を作成。そのケアプランに基づいて、ホームヘルパーが自宅を訪問し、要支援、要介護者に生活支援、身体介護等のサービスを提供する。

#### 声の広報活動

視覚に障がいがある人々へ、宗像市の広報紙などをカセットテープに録音して情報を届ける本会の障害者福祉活動。現在「日の里テープの会」「日の里いずみの会」「森林都市うぐいす」の3団体にこの活動を委託している。

### 【さ】社会福祉法

「社会福祉基礎構造改革のまとめ（中間報告）（平成9年）」に基づき、「社会福祉事業法」は「社会福祉法（平成12年）」へと名称とその内容が大きく改正された。同法第4条に『地域福祉の推進』として「地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者および社会福祉に関する活動を行う者」を地域福祉の推進者として規定した。また同法は、市町村社会福祉協議会についても第109条で地域福祉の推進役と位置づけられている。

#### 小地域ネットワーク活動

主に民生委員と福祉会の地域ケア型ボランティアが協力して、単身高齢者・高齢者夫婦のみ世帯などの定期的な見守り・訪問活動、情報提供活動、できる範囲での生活援助活動などを行っている。

#### スマイルハート

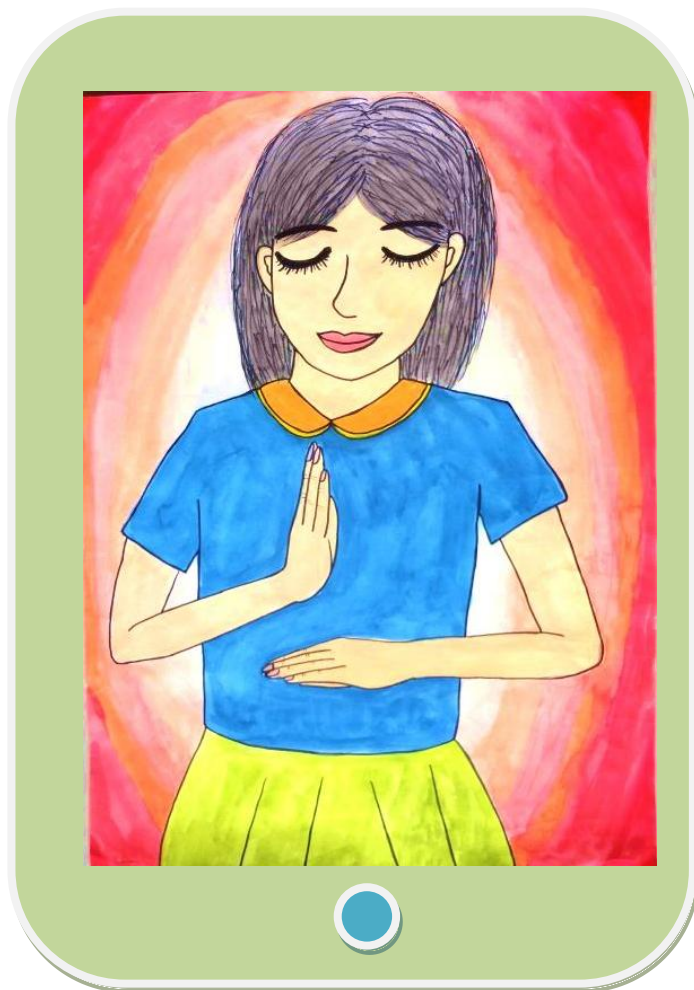
本会独自の家事援助・軽介護サービス。障がい者や高齢者世帯等を対象に日常生活に必要な家事援助・軽介護サービスをホームヘルパーが提供し、在宅で自立した生活ができるように支援する有償サービス。

#### 生活福祉資金貸付制度

低所得者（離職者）または障がい者、高齢者を対象に、小口の資金貸し付けと必要な援助、指導を行うことにより、その経済的自立および生活意欲の助長促進、ならびに在宅福祉・社会参加の促進を図り、安定した生活を営めるようにすることを目的とした制度。実施主体は、福岡県社会福祉協議会。

### 【な】日常生活自立支援事業

従来地域福祉権利擁護事業のこと。日常生活を営むのに支障がある者に対して、無料又は低額な料金で、福祉サービスの利用に関し相談に応じ、及び助言を行い、並びに福祉サービスの提供を受けるために必要な手続き又は福祉サービスの利用に要する費用の支払に関する便宜を供与することその他の福祉サービスの適切な利用のための一連の援助を一体的に行う事業。



平成 25 年度福祉絵画コンクール小学高学年の部金賞受賞作品

テーマ：「ありがとう（手話）」

作 者：南郷小学校 須藤 由衣

平成 25 年度  
社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

## 事業報告書

〒811-3437 福岡県宗像市久原 180 番地

Tel:0940-37-1300 Fax:0940-37-1393

E-mail : [info@syakyo.munakata.com](mailto:info@syakyo.munakata.com)